

No 1

機能	Comboのアイテムが行数制限された時のグリッド色
クラス	DbGridEX
名称	ComboItemsOverColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	Comboタイプのカラムで文字検索を行った場合の動作です 文字検索の対象が、ComboSearchItemsで設定された件数以上に該当する時に Comboリストを着色する色を指定します
注意点	CreateGridメソッドの後に使用してください
使用例	色設定の例  DbGridEx1.ComboItemsOverColor = Color.Yellow

No 2

機能	語句検索された場合にComboに表示する行数を指定
クラス	DbGridEX
名称	ComboSearchItems
種別	プロパティ
引数	Integer
戻り値	Integer
動作内容	Comboタイプのカラムで文字検索を行った場合の動作です 文字検索の対象をComboに表示する行数を指定します 0を設定した場合は、行数制限を行いません（全て表示されます）
注意点	CreateGridメソッドの後に使用してください
使用例	’ 行数設定の例  DbGridEx1.ComboSearchItems = 50                    ’ 50行に制限します

No 3

機能	編集禁止設定
クラス	DbGridEX
名称	EditLock
種別	プロパティ
引数	Boolean (True=編集不可／False=編集可能)
戻り値	Boolean (True=編集不可／False=編集可能)
動作内容	一時的に編集禁止状態にします 編集不可の場合True 編集可能な場合False
注意点	CreateGridメソッドの後に使用してください
使用例	<p>’ 編集禁止の例</p> <p>DbGridEx1.EditLock = True        ’ 編集不可の状態</p> <p>DbGridEx1.EditLock = False        ’ 編集可能の状態</p> <p>※グリッドの編集を一時的に禁止します グリッド以外の操作を行う場合など、グリッドを操作されないようにするために使用します</p>

No 4

機能	EnterKey入力時の処理を指定
クラス	DbGridEX
名称	EnterKeyType
種別	プロパティ
引数	EnterKeyの入力時の処理内容
戻り値	EnterKeyの入力時の処理内容
動作内容	EnterKeyの入力時の処理内容 DoubleClickMode＝該当セルでマウスダブルクリックイベントを発生 NextCellMode　＝次のセルへ移動
注意点	デフォルト値はNextCellMode DoubleClickModeが有効になるのは、全てのカラムがReadOnlyの場合
使用例	’ EnterKey入力時の処理を指定  ’ ダブルクリックイベントを出力するように指定 DbGridEx1.EnterKeyType = DoubleClickMode

機能	エラーコードの取得
クラス	DbGridEX
名称	ErrorCode
種別	プロパティ
引数	
戻り値	Integer
動作内容	内部で発生したエラー番号を取得します
注意点	
使用例	<p>エラーコード一覧</p> <p>0 正常（エラーなし）</p> <p>1 初期化ができていません Initメソッドが実行されていない場合に発生します</p> <p>2 カラムが登録されていません CreateGridを実行する前に、カラムの登録がされていないと発生します</p> <p>1001 レコードの範囲外が指定されました 内部のD a t a T a b l eにアクセスする行番号が、範囲外の場合に発生します</p> <p>1002 レコードのE O Fでアクセスしようとした 内部のD a t a T a b l eがE O F状態のままアクセスすると発生します</p> <p>1003 レコードのB O Fでアクセスしようとした 内部のD a t a T a b l eがB O F状態のままアクセスすると発生します</p> <p>1011 レコードのE O F以降に移動しようとした 内部のD a t a T a b l eがE O F状態のまま後方に移動すると発生します</p> <p>1012 レコードのB O Fより前に移動しようとした 内部のD a t a T a b l eがB O F状態のまま前方に移動すると発生します</p> <p>3001 グリッド行の範囲外が指定されました 指定された行番号が、グリッドの範囲外を指定されると発生します</p> <p>3002 グリッドが未作成です CreateGridを実行する前に、使用できないメソッドを実行した場合に発生します</p> <p>4001 カラム名が登録されていません カラム名を指定するメソッドで、カラム名の記述間違いがあった場合に発生します</p> <p>4002 カラム名が重複しています カラム追加のメソッドで、同じカラム名を指定した場合に発生します</p> <p>5001 DropDown/DropDownList以外のカラムです DropDown/DropDownList専用のメソッドに文字型、数値型などに設定されたカラム名を指定した場合に発生します</p> <p>6001 範囲外の行番号が指定されました 1行の複数段表示を行う場合に、設定可能な行番号の範囲を超えた場合に発生します</p> <p>7001 CodeFindモジュールの初期化ができていません 内部で使用しているCodeFindモジュールの初期化ができていない場合に発生します</p>

No 6

機能	表示高さ設定
クラス	DbGridEX
名称	Height
種別	プロパティ
引数	Integer (表示高さ)
戻り値	Integer (表示高さ)
動作内容	グリッドの高さを設定します
注意点	表示倍率は反映されません
使用例	<pre> ' 初期化 DbGridEx1. Init (Me)  ' 表示倍率 DbGridEx1. Magnification = 1.25  ' 表示位置 DbGridEx1. Left = 40 DbGridEx1. Top = 32  ' 表示サイズ DbGridEx1. Width = 560 DbGridEx1. Height = 400 </pre> <p>※上記のように倍率を1.25に設定した場合、  セル幅 100 → 125  セル高 20 → 25  フォント 10 → 12.5  のように全体が拡大した状態になります  ただし、グリッドの外形 (Width, Height) を倍率に応じて  拡大する必要があります  グリッドの外形を表示倍率に応じて変更しない場合は、  グリッドの右側が表示されなくなります。  その場合は、下部のスクロールバーで移動する必要があります</p>

No 7

機能	表示位置設定
クラス	DbGridEX
名称	Left
種別	プロパティ
引数	Integer (座標)
戻り値	Integer (座標)
動作内容	グリッドの表示位置 (左端) を設定します
注意点	
使用例	<pre> ' 初期化 DbGridEx1. Init (Me)  ' 表示倍率 DbGridEx1. Magnification = 1.25  ' 表示位置 DbGridEx1. Left = 40 DbGridEx1. Top = 32  ' 表示サイズ DbGridEx1. Width = 560 DbGridEx1. Height = 400  ※上記のように倍率を1.25に設定した場合、 セル幅 100 → 125 セル高 20 → 25 フォント 10 → 12.5 のように全体が拡大した状態になります ただし、グリッドの外形 (Width, Height) を倍率に応じて 拡大する必要があります グリッドの外形を表示倍率に応じて変更しない場合は、 グリッドの右側が表示されなくなります。 その場合は、下部のスクロールバーで移動する必要があります </pre>

No 8

機能	表示倍率設定
クラス	DbGridEX
名称	Magnification
種別	プロパティ
引数	Single (表示倍率)
戻り値	Single (表示倍率)
動作内容	グリッド、文字の倍率を設定します
注意点	CreateGridメソッドの前に使用します
使用例	<pre> ' 初期化 DbGridEx1. Init (Me)  ' 表示倍率 DbGridEx1. Magnification = 1.25  ' 表示位置 DbGridEx1. Left = 40 DbGridEx1. Top = 32  ' 表示サイズ DbGridEx1. Width = 560 DbGridEx1. Height = 400  ※上記のように倍率を1.25に設定した場合、 セル幅 100 → 125 セル高 20 → 25 フォント 10 → 12.5 のように全体が拡大した状態になります ただし、グリッドの外形 (Width, Height) を倍率に応じて 拡大する必要があります グリッドの外形を表示倍率に応じて変更しない場合は、 グリッドの右側が表示されなくなります。 その場合は、下部のスクロールバーで移動する必要があります </pre>



No 9

機能	セル内の余白設定（左右）												
クラス	DbGridEX												
名称	MarginX												
種別	プロパティ												
引数	Integer（セルの外形から文字等までの横方向余白）												
戻り値	Integer（セルの外形から文字等までの横方向余白）												
動作内容	指定のピクセル数の余白を指定します												
注意点	左右に適用されるため、表示可能な領域は、設定値の2倍少なくなります												
使用例	<p>’ 文字表示の位置（余白） 設定例</p> <p>DbGridEx1.MarginX = 5 DbGridEx1.MarginY = 2</p> <p>※サンプル画像では、コード= 1 の部分がMarginX に相当します また、コード= 9 の部分が、MarginYに相当します</p> <p>行の高さを20ピクセルとした場合に、MarginYを5にすると、 表示可能な高さは10となります そのため文字が完全に表示されない場合がありますので、 MarginYは注意して設定してください</p> <p>データ用のセルとヘッダー部分がこの設定値に連動します</p> <table><tr><th></th><th>コード</th><th>銀行名</th></tr><tr><td></td><td>1</td><td>みずほ</td></tr><tr><td></td><td>5</td><td>三菱東京UFJ</td></tr><tr><td></td><td>9</td><td>三井住友</td></tr></table>		コード	銀行名		1	みずほ		5	三菱東京UFJ		9	三井住友
	コード	銀行名											
	1	みずほ											
	5	三菱東京UFJ											
	9	三井住友											

No 10

機能	セル内の余白設定（上下）												
クラス	DbGridEX												
名称	MarginY												
種別	プロパティ												
引数	Integer（セルの外形から文字等までの縦方向余白）												
戻り値	Integer（セルの外形から文字等までの縦方向余白）												
動作内容	指定のピクセル数の余白を指定します												
注意点	上下に適用されるため、表示可能な領域は、設定値の2倍少なくなります												
使用例	<p>文字表示の位置（余白）設定例</p> <pre>DbGridEx1.MarginX = 5 DbGridEx1.MarginY = 2</pre> <p>※サンプル画像では、コード= 1 の部分がMarginX に相当します また、コード= 9 の部分が、MarginYに相当します</p> <p>行の高さを20ピクセルとした場合に、MarginYを5にすると、 表示可能な高さは10となります そのため文字が完全に表示されない場合がありますので、 MarginYは注意して設定してください</p> <p>データ用のセルとヘッダー部分がこの設定値に連動します</p> <table><tr><th></th><th>コード</th><th>銀行名</th></tr><tr><td></td><td>1</td><td>みずほ</td></tr><tr><td></td><td>5</td><td>三菱東京UFJ</td></tr><tr><td></td><td>9</td><td>三井住友</td></tr></table>		コード	銀行名		1	みずほ		5	三菱東京UFJ		9	三井住友
	コード	銀行名											
	1	みずほ											
	5	三菱東京UFJ											
	9	三井住友											

No 11

機能	値がNullの場合に 0 または空欄にする機能を設定
クラス	DbGridEX
名称	NullCheck
種別	プロパティ
引数	Boolean (True→0 または空白を返す False→Nullを返します)
戻り値	
動作内容	レコードの値がNullの場合に、読み出す値を変換するかを設定します NullCheckをTrueにすることで、Nullをフィールドの型に合わせて 「0」または「空白」にします レコードの値がNull以外であれば、その値が取得できます
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.NullCheck = False Debug.Print (DbGridEx1.Record.Value("ABC", 1))  →Null  DbGridEx1.NullCheck = True Debug.Print (DbGridEx1.Record.Value("ABC", 1))  →0    (フィールドABCが数値型の場合) →""   (フィールドABCが文字型の場合)</pre>

機能	表示位置設定
クラス	DbGridEX
名称	Top
種別	プロパティ
引数	Integer (座標)
戻り値	Integer (座標)
動作内容	グリッドの表示位置 (上端) を設定します
注意点	
使用例	<pre> ' 初期化 DbGridEx1. Init (Me)  ' 表示倍率 DbGridEx1. Magnification = 1.25  ' 表示位置 DbGridEx1. Left = 40 DbGridEx1. Top = 32  ' 表示サイズ DbGridEx1. Width = 560 DbGridEx1. Height = 400  ※上記のように倍率を1.25に設定した場合、 セル幅 100 → 125 セル高 20 → 25 フォント 10 → 12.5 のように全体が拡大した状態になります ただし、グリッドの外形 (Width, Height) を倍率に応じて 拡大する必要があります グリッドの外形を表示倍率に応じて変更しない場合は、 グリッドの右側が表示されなくなります。 その場合は、下部のスクロールバーで移動する必要があります </pre>

No 13

機能	表示幅設定
クラス	DbGridEX
名称	Width
種別	プロパティ
引数	Integer (表示幅)
戻り値	Integer (表示幅)
動作内容	グリッドの幅を設定します
注意点	表示倍率は反映されません
使用例	<pre> ' 初期化 DbGridEx1. Init (Me)  ' 表示倍率 DbGridEx1. Magnification = 1.25  ' 表示位置 DbGridEx1. Left = 40 DbGridEx1. Top = 32  ' 表示サイズ DbGridEx1. Width = 560 DbGridEx1. Height = 400  ※上記のように倍率を1.25に設定した場合、 セル幅 100 → 125 セル高 20 → 25 フォント 10 → 12.5 のように全体が拡大した状態になります ただし、グリッドの外形 (Width, Height) を倍率に応じて 拡大する必要があります グリッドの外形を表示倍率に応じて変更しない場合は、 グリッドの右側が表示されなくなります。 その場合は、下部のスクロールバーで移動する必要があります </pre>

No 14

機能	アクティブなセルにフォーカスを当てる
クラス	DbGridEX
名称	CellFocus
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	グリッドにフォーカスを移動し、入力可能なセルを有効にします グリッドに行が表示されていない場合はセルは有効になりません CellFocusメソッドを実行する以前に、入力可能セルが有効になった場合 （クリックなどで、セルが選択され入力状態となった状態） そのセルが入力状態になります CellFocusメソッドを実行する以前に、セルが操作されていない場合は 先頭行の入力可能セルが入力状態になります
注意点	
使用例	’フォーカスを移動します DbGridEx1.CellFocus()

No 15

機能	グリッドの終了処理
クラス	DbGridEX
名称	Close
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	内部用のリソースを解放します
注意点	フォームを閉じる時に使用します
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品          名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規          格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  初期化、カラムの設定ののちにCreateGridを実行して外形を作成します  フォームを閉じる際にCloseを実行してリソースを解放します DbGridEx1. Close() </pre>

機能	グリッドの表示処理
クラス	DbGridEX
名称	CreateGrid
種別	メソッド
引数	Optional Boolean (グリッドの再作成)
戻り値	
動作内容	設定済みのカラム情報からグリッドを表示します グリッドの再作成の場合は表示のみです
注意点	カラム情報を設定した後に使用します
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品          名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規          格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid() </pre> <p>初期化、カラムの設定の後にCreateGridを実行して外形を作成します</p> <p>フォームを閉じる際にCloseを実行してリソースを解放します</p> <p>最初の実行は、引数 GridReMake = False で実行します  引数 GridReMake = True にして実行するとグリッドを再表示します  再表示の場合は、内部のテーブル作成を行いません  グリッドの外形を状況によって変更するなど再表示が必要な場合に  GridReMake = True に設定して実行します</p>



No 17

機能	初期化
クラス	DbGridEX
名称	Init
種別	メソッド
引数	FormName As System.Windows.Forms.Control (フォーム)
戻り値	
動作内容	コントロールを初期化します
注意点	最初に使用して初期化を行う必要があります
使用例	<pre>' 初期化 DbGridEx1. Init (Me)  ' 表示倍率 DbGridEx1. Magnification = 1.25  ' 表示位置 DbGridEx1. Left = 40 DbGridEx1. Top = 32  ' 表示サイズ DbGridEx1. Width = 560 DbGridEx1. Height = 400</pre>

No 18

機能	レコードの先頭検出
クラス	DbGridEX. Record
名称	BOF
種別	プロパティ
引数	
戻り値	Boolean (レコード位置の先頭状態)
動作内容	MoveFirst, MoveNext, MovePerviousを実行した時にフラグが設定されます レコードの先頭より前に移動した場合にTrueとなります
注意点	レコード移動モードのみ対象になります
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. MoveLast DO Whfile DbGridEx1. Record. BOF = False     Debug. Print (DbGridEx1. Record. CurrentValue("hinmei"))     Debug. Print (DbGridEx1. Record. CurrentValue("kikaku"))     DbGridEx1. Record. MovePervious Loop </pre>

No 19

機能	レコードの末尾検出
クラス	DbGridEX. Record
名称	EOF
種別	プロパティ
引数	
戻り値	Boolean (レコード位置の末尾状態)
動作内容	MoveFirst, MoveNext, MoveLastを実行した時に動作 レコードの末尾より後ろに移動した場合にTrueとなります
注意点	レコード移動モードのみ対象になります
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. MoveFirst DO Whfile DbGridEx1. Record. EOF = False     Debug. Print (DbGridEx1. Record. CurrentValue("hinmei"))     Debug. Print (DbGridEx1. Record. CurrentValue("kikaku"))     DbGridEx1. Record. MoveNext Loop </pre>

機能	レコードの件数取得
クラス	DbGridEX. Record
名称	Count
種別	プロパティ
引数	
戻り値	Integer (レコード件数)
動作内容	レコードの件数を取得します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  Debug. Print (DbGridEx1. Record. Count) </pre>

機能	レコードの追加 (背景色)
クラス	DbGridEX. Record
名称	AddCellBackColor
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Color (レコードに登録する背景色)
戻り値	
動作内容	内部レコードに背景色を登録します 指定したセルのみ文字色を変更します 背景色を指定しないで実行すると、登録済みの背景色を初期化します
注意点	DbGridEX. Record. AddNewの実行後でなければ、正常に処理できません
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddCellBackColor("hinmei", Color. Yellow) DbGridEx1. Record. AddCellForeColor("hinmei", Color. Red) DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  Debug. Print (DbGridEx1. Record. Count)  ' 品名 1 のセルのみ背景色を黄色、文字色を赤にします </pre>

機能	レコードの追加 (文字色)
クラス	DbGridEX. Record
名称	AddCellForeColor
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Color (レコードに登録する文字色)
戻り値	
動作内容	内部レコードに文字色を登録します 指定したセルのみ文字色を変更します 文字色を指定しないで実行すると、登録済みの文字色を初期化します
注意点	DbGridEX. Record. AddNewの実行後でなければ、正常に処理できません
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddCellBackColor("hinmei", Color. Yellow) DbGridEx1. Record. AddCellForeColor("hinmei", Color. Red) DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  Debug. Print (DbGridEx1. Record. Count)  ' 品名 1 のセルのみ背景色を黄色、文字色を赤にします </pre>

機能	レコードの追加（データ）
クラス	DbGridEX. Record
名称	AddData
種別	メソッド
引数	String（カラム名） Object（レコードに登録する値）
戻り値	
動作内容	内部レコードに値を登録します
注意点	DbGridEX. Record. AddNewの実行後でなければ、正常に処理できません
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  Debug. Print (DbGridEx1. Record. Count) </pre>

機能	レコードの追加 (Combo用フィルター値)
クラス	DbGridEX. Record
名称	AddFilter
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Object (Combo用フィルター値)
戻り値	
動作内容	内部レコードにCombo用フィルター値を登録します
注意点	DbGridEX. Record. AddNewの実行後でなければ、正常に処理できません
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("zaishitu", "材質", _     DbGridEx. ColumnType. DropDownList, 100, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("zaishitu", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Grid. Column. Combo. ItemClear("zaishitu") DbGridEx1. Grid. Column. Combo. NullLine("zaishitu", True) DbGridEx1. Grid. Column. Combo. ItemADD("zaishitu", 1, "鉄", 0) DbGridEx1. Grid. Column. Combo. ItemADD("zaishitu", 2, "ステンレス", 0) DbGridEx1. Grid. Column. Combo. ItemADD("zaishitu", 1, "紙", 1) DbGridEx1. Grid. Column. Combo. ItemADD("zaishitu", 2, "ガラス", 1)  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("zaishitu", 1) DbGridEx1. Record. AddFilter("zaishitu", 0) ' 鉄 or ステンレス DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("zaishitu", 2) DbGridEx1. Record. AddFilter("zaishitu", 1) ' 紙 or ガラス DbGridEx1. Record. AddUpdate  Debug. Print (DbGridEx1. Record. Count) </pre>



機能	レコードの追加（開始）
クラス	DbGridEX. Record
名称	AddNew
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	レコードを追加するための内部レコードを作成します
注意点	AddDataなどを行う前に実行する必要があります
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  Debug. Print (DbGridEx1. Record. Count) </pre>

機能	レコードの追加（登録）
クラス	DbGridEX. Record
名称	AddUpdate
種別	メソッド
引数	LineEditMode（行の状態） Optional Boolean（行の編集不可状態の指定）
戻り値	
動作内容	内部レコードをレコードに登録します
注意点	DbGridEX. Record. AddNew／AddData等を実行した後に使用します
使用例	<p>LineEditMode</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NoEdit            未変更行</li> <li>・ Edited            変更された</li> <li>・ Deleted           削除された</li> <li>・ NewLine           新規に追加された</li> <li>・ NewEdit           新規に追加された後に変更された</li> <li>・ DeleteNewLine   新規に追加された後に削除された</li> </ul> <p>NoEditで登録された行に対して文字入力などを行うと自動的にEdited状態に遷移します NoEdit、Editedの行を削除処理するとDeleted状態に遷移します</p> <p>NewLineで登録された行に対して文字入力などを行うと自動的にNewEdit状態に遷移します NewEdit、NewEditの行を削除処理するとDeleteNewLine状態に遷移します</p> <p>行の編集不可状態を指定することができます</p>

機能	指定したレコードに背景色を設定
クラス	DbGridEX. Record
名称	CellBackColor
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (レコード番号) Optional Color (レコードに登録する背景色)
戻り値	
動作内容	レコード番号で指定した行に背景色を設定します 背景色を指定しないで実行した場合は、設定済みの背景色を削除します
注意点	レコード番号を指定します
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. CellBackColor("hinmei", 1, Color. Yellow) DbGridEx1. Record. CellForeColor("hinmei", 1, Color. Red)  ' 品名 2 のセルを文字色＝赤、背景色＝黄色にします </pre>

機能	指定したレコードに文字色を設定
クラス	DbGridEX. Record
名称	CellForeColor
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (レコード番号) Optional Color (レコードに登録する文字色)
戻り値	
動作内容	レコード番号で指定した行に文字色を設定します 文字色を指定しないで実行した場合は、設定済みの文字色を削除します
注意点	レコード番号を指定します
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. CellBackColor("hinmei", 1, Color. Yellow) DbGridEx1. Record. CellForeColor("hinmei", 1, Color. Red)  ' 品名 2 のセルを文字色＝赤、背景色＝黄色にします </pre>

No 29

機能	指定したレコードが変更されたかを取得
クラス	DbGridEX. Record
名称	Changed
種別	メソッド
引数	Integer (レコード番号)
戻り値	Boolean (変更状態)
動作内容	レコード番号で指定した行が変更されたかを取得します 変更がある場合True 変更がない場合False
注意点	
使用例	<pre>If DbGridEx1. Record. Changed(10) Then     Debug. Print("Changed") Else     Debug. Print("No Changed") End If</pre>

No 30

機能	レコードに無文字かNullが存在するかを確認
クラス	DbGridEX. Record
名称	CheckChar
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Boolean (削除済み行の指定)
戻り値	Integer (レコード番号) 「無文字」またはNullが存在しない場合は、－ 1 を返します
動作内容	レコードの指定したカラムに 0 文字かNullが存在するかを確認し、 無文字またはNullが存在する場合はレコード番号を返します 複数のレコードが該当する場合は、レコード番号の小さい順に出力されます 該当する行が存在しない場合は、－ 1 を返します 削除済みの行について対象にするか、対象外にするかを指定できます
注意点	文字型のカラムを指定します
使用例	Debug. Print (DbGridEX1. Record. CheckChar ("ABC", True))

No 31

機能	レコードに日付異常かNullが存在するかを確認
クラス	DbGridEX. Record
名称	CheckDate
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Boolean (削除済み行の指定)
戻り値	Integer (レコード番号) 日付異常かNullが存在しない場合は、－1を返します
動作内容	レコードの指定したカラムに日付異常かNullが存在するかを確認し、 日付異常かNullが存在する場合はレコード番号を返します 複数のレコードが該当する場合は、レコード番号の小さい順に出力されます 該当する行が存在しない場合は、－1を返します 削除済みの行について対象にするか、対象外にするかを指定できます
注意点	日付型のカラムを指定します
使用例	Debug. Print (DbGridEX1. Record. CheckDate ("ABC", True))

No 32

機能	コードの重複が存在するかを確認
クラス	DbGridEX. Record
名称	CheckDuplicate
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Boolean (削除済み行の指定)
戻り値	Integer (レコード番号) 重複が存在しない場合は、－1を返します
動作内容	指定したカラムでレコード間の重複を検出します 同一の数値が他のレコードに存在する場合はレコード番号を返します 該当する行が存在しない場合は、－1を返します 削除済みの行について対象にするか、対象外にするかを指定できます
注意点	数値型カラムを指定します
使用例	Debug. Print (DbGridEX1. Record. CheckDuplicate ("ABC", True))



No 33

機能	レコードにNullが存在するかを確認
クラス	DbGridEX. Record
名称	CheckNull
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Boolean (削除済み行の指定)
戻り値	Integer (レコード番号) Nullが存在しない場合は、－1を返します
動作内容	レコードの指定したカラムにNullが存在するかを確認し、 Nullが存在する場合はレコード番号を返します 複数のレコードが該当する場合は、レコード番号の小さい順に出力されます 該当する行が存在しない場合は、－1を返します 削除済みの行について対象にするか、対象外にするかを指定できます
注意点	
使用例	Debug. Print (DbGridEX1. Record. CheckNull ("ABC", True))

No 34

機能	レコードに 0 かNullが存在するかを確認
クラス	DbGridEX. Record
名称	CheckZero
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Boolean (削除済み行の指定)
戻り値	Integer (レコード番号) 「0」かNullが存在しない場合は、－1 を返します
動作内容	レコードの指定したカラムに「0」またはNullが存在するかを確認し、 「0」かNullが存在する場合はレコード番号を返します 複数のレコードが該当する場合は、レコード番号の小さい順に出力されます 該当する行が存在しない場合は、－1 を返します 削除済みの行について対象にするか、対象外にするかを指定できます
注意点	数値型のカラムを指定します
使用例	Debug. Print (DbGridEX1. Record. CheckZero ("ABC", True))

機能	レコードの全消去
クラス	DbGridEX. Record
名称	Clear
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	レコードを全消去します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  Debug. Print (DbGridEx1. Record. Count) </pre>

機能	指定したレコードのCombo用フィルター値を取得／設定
クラス	DbGridEX.Record
名称	ComboFilter
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (レコード番号) Optional Object (レコードに登録するCombo用フィルター値) Optional Boolean (Nullの登録)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコード番号で指定した行が対象です 引数に値を設定しない場合は、値を取得します 引数に値を設定した場合は、その値をレコードに登録します 引数のNull登録を有効にすると、値を無視してNullに登録します
注意点	レコード番号を指定します
使用例	<pre> DbGridEx1.Init(Me) DbGridEx1.Grid.Column.Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("hinmei", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("hinmei", DbGridEx.IMEtype.Hiragana)  DbGridEx1.Grid.Column.Add("zaishitu", "材質", _     DbGridEx.ColumnType.DropDownList, 100, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("zaishitu", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.CreateGrid()  DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("zaishitu") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.NullLine("zaishitu", True) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 1, "鉄", 0) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 2, "ステンレス", 0) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 1, "紙", 1) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 2, "ガラス", 1)  DbGridEx1.Record.Clear DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1.Record.AddData("zaishitu", 1) DbGridEx1.Record.AddFilter("zaishitu", 0) '鉄 or ステンレス DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1.Record.AddData("zaishitu", 2) DbGridEx1.Record.AddFilter("zaishitu", 1) '紙 or ガラス DbGridEx1.Record.AddUpdate  Debug.Print(DbGridEx1.Record.ConboFilter("zaishitu", 0)) Debug.Print(DbGridEx1.Record.ConboFilter("zaishitu", 1))  DbGridEx1.Record.ComboFilter("zaishitu", 0, 1) '紙 or ガラス DbGridEx1.Record.ComboFilter("zaishitu", 1, 0) '鉄 or ステンレス </pre>

機能	指定したレコードのCombo用オプション値を取得／設定
クラス	DbGridEX. Record
名称	ComboOption
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (レコード番号) Optional Object (レコードに登録するCombo用オプション値)
戻り値	Integer (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコード番号で指定した行が対象です 引数に値を設定しない場合は、値を取得します 引数に値を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	レコード番号を指定します
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("zaishitu", "材質", _     DbGridEx. ColumnType. DropDownList, 100, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("zaishitu", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Grid. Column. Combo. ItemClear("zaishitu") DbGridEx1. Grid. Column. Combo. NullLine("zaishitu", True) DbGridEx1. Grid. Column. Combo. ItemsADD("zaishitu", 1, "鉄", 0, 11) DbGridEx1. Grid. Column. Combo. ItemsADD("zaishitu", 2, "ステンレス", 0, 12) DbGridEx1. Grid. Column. Combo. ItemsADD("zaishitu", 1, "紙", 1, 21) DbGridEx1. Grid. Column. Combo. ItemsADD("zaishitu", 2, "ガラス", 1, 22)  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("zaishitu", 1) DbGridEx1. Record. AddFilter("zaishitu", 0) '鉄 or ステンレス DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("zaishitu", 2) DbGridEx1. Record. AddFilter("zaishitu", 1) '紙 or ガラス DbGridEx1. Record. AddUpdate  Debug. Print (DbGridEx1. Record. ComboOption("zaishitu", 0)) Debug. Print (DbGridEx1. Record. ComboOption("zaishitu", 1)) </pre>

No 38

機能	削除フラグの設定
クラス	DbGridEX. Record
名称	Delete
種別	メソッド
引数	Integer (レコード番号)
戻り値	
動作内容	レコード番号で指定した行に削除フラグを設定します
注意点	
使用例	DbGridEX1. Record. Delete(10)

No 39

機能	指定したレコードに変更フラグを設定
クラス	DbGridEX. Record
名称	EditSet
種別	メソッド
引数	Integer (レコード番号)
戻り値	
動作内容	レコード番号で指定した行に変更フラグを設定します
注意点	
使用例	DbGridEx1. Record. EditSet (5)

No 40

機能	指定値があるレコード番号を取得
クラス	DbGridEX. Record
名称	Find
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Object (検索する値)
戻り値	Integer (レコード番号) 検出できない場合は、－1 を返します
動作内容	指定したカラムで検索を行います レコードに該当する値が存在する場合はレコード番号を返します 複数行で該当する場合は、レコード番号が小さい行を返します 該当する行が存在しない場合は、－1 を返します
注意点	数値型カラムを指定します
使用例	Debug. Print (DbGridEX1. Record. Find("ABC", 10))



No 41

機能	レコードの値が日付型として正常かを判定
クラス	DbGridEX. Record
名称	IsDay
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (レコード番号)
戻り値	Boolean (値が日付の場合True 日付以外の場合False)
動作内容	カラム・レコード番号で指定したレコードの値が日付かを返します 日付の場合Trueを返します 日付でない場合はFalseを返します
注意点	
使用例	<pre>If DbGridEX1. Record. IsDay("ABC", 10) Then     Debug. Print("Date") Else     Debug. Print("Not Date") End If</pre>

No 42

機能	レコードの値のNullの判定
クラス	DbGridEX. Record
名称	IsNull
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (レコード番号)
戻り値	Boolean (Nullの場合True Null以外の場合False)
動作内容	カラム・レコード番号で指定したレコードの値がNullかを返します Nullの場合Trueを返します Nullでない場合はFalseを返します
注意点	
使用例	<pre>If DbGridEX1. Record. IsNull ("ABC", 10) Then     Debug. Print ("Null") Else     Debug. Print ("Not Null") End If</pre>

No 43

機能	内部制御用の管理番号を取得
クラス	DbGridEX. Record
名称	KeyCode
種別	メソッド
引数	Integer (レコード番号)
戻り値	Long (管理番号)
動作内容	DataSetとグリッドを関連付けする管理番号を取得します 指定したレコード番号から管理番号を取得します
注意点	レコード番号を指定します
使用例	Debug. Print (DbGridEx1. Record. KeyCode (1))

No 44

機能	指定したレコードに該当するグリッド行の読取り専用状態を取得／設定
クラス	DbGridEX. Record
名称	Lock
種別	メソッド
引数	Integer (レコード番号) Optional Boolean (ロック状態の指定) ロック状態 True 行の変更を不可にします False 行の変更を可能にします
戻り値	Boolean (ロック状態)
動作内容	レコード番号で指定した行が対象です 引数にロック状態を設定しない場合は、値を取得します 引数にロック状態を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre>' 値を取得 If DbGridEx1. Record. Lock(10) Then     Debug. Print("ロックされています") Else     Debug. Print("ロックされていません") End If  ' ロックを設定 DbGridEx1. Record. Lock(10, True) ' ロックを解除 DbGridEx1. Record. Lock(10, False)</pre>

No 45

機能	レコードの最大値を取得
クラス	DbGridEX. Record
名称	MaxCode
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Boolean (削除済み行を含むかの指定)
戻り値	Integer (指定したカラムの最大値)
動作内容	レコードを検索して指定したカラムの最大値を取得します 削除済み行を含めるかを指定することができます
注意点	
使用例	Debug. Print (DbGridEX1. Record. MaxCode ("ABC"))

No 46

機能	レコードの最小値を取得
クラス	DbGridEX. Record
名称	MinCode
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Boolean (削除済み行の指定)
戻り値	Integer (指定したカラムで最小値 [マイナス方向の最大値] )
動作内容	レコードを検索して指定したカラムの最小値を取得します 削除済み行を含めるかを指定することができます
注意点	
使用例	Debug. Print (DbGridEX1. Record. MinCode ("ABC"))

機能	指定したレコードの状態を取得／設定
クラス	DbGridEX.Record
名称	Status
種別	メソッド
引数	Integer (レコード番号) Optional LineEditMode (状態フラグ) ・ NoEdit 変更なし ・ Edited 編集済み ・ Deleted 削除 ・ NewLine 新規行 ・ NewEdit 新規行の編集済み ・ DeleteNewLine 新規行の削除
戻り値	LineEditMode (状態フラグ) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコード番号で指定した行が対象です 引数にレコード状態を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード状態を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1.Init(Me) DbGridEx1.Grid.Column.Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("hinmei", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("hinmei", DbGridEx.IMEtype.Hiragana)  DbGridEx1.Grid.Column.Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("kikaku", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("kikaku", DbGridEx.IMEtype.Hiragana) DbGridEx1.CreateGrid()  DbGridEx1.Record.Clear DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1.Record.AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1.Record.AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.Status.Value(1, DbGridEx.LineEditMode.Deleted) DbGridEx1.Status.Value(2, DbGridEx.LineEditMode.Deleted) </pre>

機能	指定したレコードの値を取得／設定
クラス	DbGridEX. Record
名称	Value
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (レコード番号) Optional Object (レコードに登録する値) Optional Boolean (Nullの登録)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコード番号で指定した行が対象です 引数にレコード登録値を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード登録値を設定した場合は、その値をレコードに登録します 引数のNull登録を有効にすると、値を無視してNullに登録します
注意点	レコード番号を指定します
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  Debug. Print (DbGridEx1. Record. Value("hinmei", 0)) Debug. Print (DbGridEx1. Record. Value("hinmei", 1))  DbGridEx1. Record. Value("hinmei", 0, "品名 3 ")      ' 品名 3 を登録 DbGridEx1. Record. Value("hinmei", 1, "", True)      ' Nullを登録 </pre>



No 49

機能	抽出フィルター動作中のレコード番号を取得
クラス	DbGridEX. Record
名称	GetRecordNo
種別	プロパティ (抽出フィルター動作)
引数	
戻り値	Integer (現在のレコード番号)
動作内容	(抽出フィルター動作) 現在のレコード番号を返します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst () Do Until DbGridEx1. Record. EOF     Debug. Print (DbGridEx1. Record. GetRecordNo)     DbGridEx1. Record. MoveNext () Next</pre>

No 50

機能	レコードのカレント行に相当するグリッドへカーソル移動
クラス	DbGridEX. Record
名称	CurrentCellMove
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	String (カラム名)
戻り値	
動作内容	レコードのカレント行に相当するグリッドの指定カラムにカーソルを移動します
注意点	
使用例	DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst () DbGridEx1. Record. CurrentCellMove ("ABC")

機能	レコードのカレント行のCombo用フィルター値を取得／設定
クラス	DbGridEX.Record
名称	CurrentComboFilter
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	String (カラム名) Optional Object (レコードに登録するCombo用フィルター値) Optional Boolean (Nullの登録)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコードのカレント行が対象です 引数に値を設定しない場合は、値を取得します 引数に値を設定した場合は、その値をレコードに登録します 引数のNull登録を有効にすると、値を無視してNullに登録します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1.Init(Me) DbGridEx1.Grid.Column.Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("hinmei", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("hinmei", DbGridEx.IMEtype.Hiragana)  DbGridEx1.Grid.Column.Add("zaishitu", "材質", _     DbGridEx.ColumnType.DropDownList, 100, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("zaishitu", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.CreateGrid()  DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("zaishitu") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.NullLine("zaishitu", True) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemADD("zaishitu", 1, "鉄", 0) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemADD("zaishitu", 2, "ステンレス", 0) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemADD("zaishitu", 1, "紙", 1) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemADD("zaishitu", 2, "ガラス", 1)  DbGridEx1.Record.Clear DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1.Record.AddData("zaishitu", 1) DbGridEx1.Record.AddFilter("zaishitu", 0) '鉄 or ステンレス DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1.Record.AddData("zaishitu", 2) DbGridEx1.Record.AddFilter("zaishitu", 1) '紙 or ガラス DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.Record.StatusFilter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.Record.MoveFirst() DbGridEx1.Record.CurrentComboFilter("zaishitu", 1) '紙 or ガラス DbGridEx1.Record.MoveNext() DbGridEx1.Record.CurrentComboFilter("zaishitu", 0) '鉄 or ステンレス </pre>

No 52

機能	レコードのカレント行に削除フラグを設定
クラス	DbGridEX. Record
名称	CurrentDelete
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	
戻り値	
動作内容	レコードのカレント行に削除フラグを設定します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst () DbGridEX1. Record. CurrentDelete ()</pre>

No 53

機能	レコードのカレント行のNullの判定
クラス	DbGridEX. Record
名称	CurrentIsNull
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	String (カラム名)
戻り値	Boolean (Nullの場合True Null以外False)
動作内容	レコードのカレント行の指定カラムの値がNullかを返します Nullの場合Trueを返します Nullでない場合はFalseを返します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst () DbGridEx1. Record. MoveNext () If DbGridEX1. Record. CurrentIsNull ("ABC") Then     Debug. Print ("Null") Else     Debug. Print ("Not Null") End If</pre>

No 54

機能	レコードのカレント行の管理番号を取得
クラス	DbGridEX. Record
名称	CurrentKeyCode
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	
戻り値	Long (レコードのカレント行の管理番号)
動作内容	DataSetとグリッドを関連付けする管理番号を取得します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst () Debug. Print (DbGridEX1. Record. CurrentKeyCode)</pre>

No 55

機能	レコードのカレント行のレコード番号の取得
クラス	DbGridEX. Record
名称	CurrentRecordNo
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	
戻り値	Integer (カレントレコードのレコード番号)
動作内容	レコードのカレント行のレコード番号を返します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst () Do Until DbGridEx1. Record. EOF     Debug. Print (DbGridEX1. Record. CurrentRecordNo)     DbGridEx1. Record. MoveNext () Loop</pre>

機能	レコードのカレント行の値を取得／設定
クラス	DbGridEX.Record
名称	CurrentValue
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	String (カラム名) Optional Object (レコードに登録する値) Optional Boolean (Nullの登録)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコードのカレント行が対象です 引数にレコード登録値を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード登録値を設定した場合は、その値をレコードに登録します 引数のNull登録を有効にすると、値を無視してNullに登録します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. StatusFilter(DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst() Debug. Print (DbGridEx1. Record. CurrentValue("hinmei")) DbGridEx1. Record. MoveNext() Debug. Print (DbGridEx1. Record. CurrentValue("hinmei"))  DbGridEx1. Record. MoveFirst() DbGridEx1. Record. CurrentValue("hinmei", "品名 3 ") ' 品名 3 を登録 DbGridEx1. Record. MoveNext() DbGridEx1. Record. CurrentValue("hinmei", "", True) ' N u l l を登録 </pre>



No 57

機能	レコードのカレント行を先頭に移動
クラス	DbGridEX. Record
名称	MoveFirst
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	
戻り値	
動作内容	フィルターの条件に合致するレコードの先頭に移動します (レコード番号順)
注意点	フィルター条件が一致する行がなければEOF状態になります
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst () Do Until DbGridEx1. Record. EOF     Debug. Print (DbGridEx1. Record. GetRecordNo)     DbGridEx1. Record. MoveNext () Next</pre>

No 58

機能	レコードのカレント行を最終行に移動
クラス	DbGridEX. Record
名称	MoveLast
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	
戻り値	
動作内容	フィルターの条件に合致する最終のレコードに移動します (レコード番号順)
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveLast () Do Until DbGridEx1. Record. BOF     Debug. Print (DbGridEx1. Record. GetRecordNo)     DbGridEx1. Record. MovePervious () Next</pre>

No 59

機能	レコードのカレント行を次の行に移動
クラス	DbGridEX. Record
名称	MoveNext
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	
戻り値	
動作内容	フィルターの条件に合致する次のレコードに移動します (レコード番号順)
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst () Do Until DbGridEx1. Record. EOF     Debug. Print (DbGridEx1. Record. GetRecordNo)     DbGridEx1. Record. MoveNext () Next</pre>

No 60

機能	レコードのカレント行を前の行に移動
クラス	DbGridEX. Record
名称	MovePervious
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	
戻り値	
動作内容	フィルターの条件に合致する前のレコードに移動します (レコード番号順)
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveLast () Do Until DbGridEx1. Record. BOF     Debug. Print (DbGridEx1. Record. GetRecordNo)     DbGridEx1. Record. MovePervious () Next</pre>

No 61

機能	レコードのカレント行を指定行に移動
クラス	DbGridEX. Record
名称	MoveRecord
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	Integer (レコード番号)
戻り値	Boolean (移動成功True 失敗False)
動作内容	指定した行に移動します ただし、移動先が抽出フィルターの条件に合致しない場合は EOF状態になります 戻り値は、移動が成功するとTrue 移動に失敗するとFalseが返ります
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) If DbGridEx1. Record. MoveRecord (10) Thne     Debug. Print ("移動成功") Else     Debug. Print ("移動失敗") End If</pre>

機能	抽出フィルター動作のフィルター設定
クラス	DbGridEX. Record
名称	StatusFilter
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	LineStatus (抽出対象) <ul style="list-style-type: none"> <li>• DbGridEx.LineStatus.NormalLine (標準状態)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NormalEdit (標準行の編集)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NormalDelete (標準行の削除)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NewLine (追加行)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NewEdit (追加行の編集)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NewDelete (追加行の削除)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.AllLine (全行)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NewLine_NewEdit (追加行、追加行の編集)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NotDelete (NormalDelete + NewDelete 以外)</li> </ul> 値は加算することができます
戻り値	
動作内容	抽出フィルター動作の対象となる行を指定します 再設定するまで状態は保持されます
注意点	設定の後にMoveFirstで先頭に移動してください
使用例	<pre> DbGridEx1.Record.StatusFilter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.Record.MoveFirst() Do Until DbGridEx1.Record.EOF     Debug.Print(DbGridEx1.Record.GetRecordNo)     DbGridEx1.Record.MoveNext() Next </pre>

No 63

機能	抽出フィルター動作のフィルター設定（削除行以外）
クラス	DbGridEX. Record
名称	StatusFilterNotDelete
種別	メソッド（抽出フィルター動作）
引数	
戻り値	
動作内容	抽出フィルター動作の対象となる行を指定します 削除行以外が対象となります ・ DbGridEx. LineStatus. NormalLine（標準状態） ・ DbGridEx. LineStatus. NormalEdit（標準行の編集） ・ DbGridEx. LineStatus. NewLine（追加行） ・ DbGridEx. LineStatus. NewEdit（追加行の編集） 再設定するまで状態は保持されます
注意点	設定の後にMoveFirstで先頭に移動してください
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilterNotDelete() DbGridEx1. Record. MoveFirst() Do Until DbGridEx1. Record. EOF     Debug. Print (DbGridEx1. Record. GetRecordNo)     DbGridEx1. Record. MoveNext() Next</pre>

機能	レコードの先頭検出
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	BOF
種別	プロパティ
引数	
戻り値	Boolean (レコード位置の先頭状態)
動作内容	MoveFirst, MoveNext, MovePerviousを実行した時にフラグが設定されます レコードの先頭より前に移動した場合にTrueとなります
注意点	レコード移動モードのみ対象になります
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. CurrentRecord. MoveLast DO Whfile DbGridEx1. CurrentRecord. BOF = False     Debug. Print (DbGridEx1. CurrentRecord. Value("hinmei"))     Debug. Print (DbGridEx1. CurrentRecord. Value("kikaku"))     DbGridEx1. CurrentRecord. MovePervious Loop </pre>



機能	レコードの末尾検出
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	EOF
種別	プロパティ
引数	
戻り値	Boolean (レコード位置の末尾状態)
動作内容	MoveFirst, MoveNext, MoveLastを実行した時に動作 レコードの末尾より後ろに移動した場合にTrueとなります
注意点	レコード移動モードのみ対象になります
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. CurrentRecord. MoveFirst DO Whfile DbGridEx1. CurrentRecord. EOF = False     Debug. Print (DbGridEx1. CurrentRecord. Value("hinmei"))     Debug. Print (DbGridEx1. CurrentRecord. Value("kikaku"))     DbGridEx1. CurrentRecord. MoveNext Loop </pre>

No 66

機能	レコードのカレント行のレコード番号の取得
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	GetRecordNo
種別	メソッド
引数	
戻り値	Integer (カレントレコードのレコード番号)
動作内容	レコードのカレント行のレコード番号を返します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() Do Until DbGridEx1.CurrentRecord.EOF     Debug.Print(DbGridEX1.CurrentRecord.GetRecordNo)     DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() Loop</pre>

機能	レコードのカレント行に背景色を設定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	CellBackColor
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	String (カラム名) Optional Color (レコードに登録する背景色)
戻り値	
動作内容	レコードのカレント行が対象です 背景色を指定しないで実行すると、登録済みの背景色を初期化します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品          名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規          格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40, _     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku", _     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. CurrentRecord. Filter(DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. CurrentRecord. MoveFirst() Debug. Print(DbGridEx1. CurrentRecord. Value("hinmei")) DbGridEx1. CurrentRecord. MoveNext() Debug. Print(DbGridEx1. CurrentRecord. Value("hinmei"))  DbGridEx1. CurrentRecord. MoveFirst() DbGridEx1. CurrentRecord. CellBackColor("hinmei", Color. Yellow) DbGridEx1. CurrentRecord. CellForeColor("hinmei", Color. Red)  ' 文字色=赤、背景色を黄色に設定します </pre>

機能	レコードのカレント行に文字色を設定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	CellForeColor
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	String (カラム名) Optional Color (レコードに登録する文字色)
戻り値	
動作内容	レコードのカレント行が対象です 文字色を指定しないで実行すると、登録済みの文字色を初期化します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1.Init(Me) DbGridEx1.Grid.Column.Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("hinmei", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("hinmei", DbGridEx.IMEtype.Hiragana)  DbGridEx1.Grid.Column.Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("kikaku", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("kikaku", DbGridEx.IMEtype.Hiragana) DbGridEx1.CreateGrid()  DbGridEx1.Record.Clear DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1.Record.AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1.Record.AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.Value("hinmei")) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.Value("hinmei"))  DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() DbGridEx1.CurrentRecord.CellBackColor("hinmei", Color.Yellow) DbGridEx1.CurrentRecord.CellForeColor("hinmei", Color.Red)  ' 文字色=赤、背景色を黄色に設定します </pre>

No 69

機能	レコードのカレント行に相当するグリッドへカーソル移動
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	CellMove
種別	メソッド
引数	ColumnName As String (カラム名)
戻り値	
動作内容	レコードのカレント行に相当するグリッドの指定カラムにカーソルを移動します
注意点	
使用例	DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() DbGridEx1.CurrentRecord.CellMove("ABC")

No 70

機能	レコードのカレント行が変更されたかを取得
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	Changed
種別	メソッド
引数	
戻り値	Boolean (変更状態) 変更がある場合True 変更がない場合False
動作内容	レコードのカレント行が変更されたかを取得します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() If DbGridEx1.CurrentRecord.Changed() Then     Debug.Print("Changed") Else     Debug.Print("No Changed") End If</pre>

機能	レコードのカレント行のCombo用フィルター値を取得／設定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	ComboFilter
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Object (レコードに登録するCombo用フィルター値) Optional Boolean (Nullの登録)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコードのカレント行が対象です 引数に値を設定しない場合は、値を取得します 引数に値を設定した場合は、その値をレコードに登録します 引数のNull登録を有効にすると、値を無視してNullを登録します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1.Init(Me) DbGridEx1.Grid.Column.Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("hinmei", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("hinmei", DbGridEx.IMEtype.Hiragana)  DbGridEx1.Grid.Column.Add("zaishitu", "材質", _     DbGridEx.ColumnType.DropDownList, 100, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("zaishitu", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.CreateGrid()  DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("zaishitu") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.NullLine("zaishitu", True) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 1, "鉄", 0) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 2, "ステンレス", 0) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 1, "紙", 1) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 2, "ガラス", 1)  DbGridEx1.Record.Clear DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1.Record.AddData("zaishitu", 1) DbGridEx1.Record.AddFilter("zaishitu", 0) '鉄 or ステンレス DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1.Record.AddData("zaishitu", 2) DbGridEx1.Record.AddFilter("zaishitu", 1) '紙 or ガラス DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() DbGridEx1.CurrentRecord.ComboFilter("zaishitu", 1) '紙 or ガラス DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() DbGridEx1.CurrentRecord.ComboFilter("zaishitu", 0) '鉄 or ステンレス </pre>

機能	レコードのカレント行のCombo用オプション値を取得／設定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	ComboOption
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Object (レコードに登録するCombo用オプション値)
戻り値	Integer (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコードのカレント行が対象です 引数に値を設定しない場合は、値を取得します 引数に値を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1.Init(Me) DbGridEx1.Grid.Column.Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("hinmei", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("hinmei", DbGridEx.IMEtype.Hiragana)  DbGridEx1.Grid.Column.Add("zaishitu", "材質", _     DbGridEx.ColumnType.DropDownList, 100, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("zaishitu", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.CreateGrid()  DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("zaishitu") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.NullLine("zaishitu", True) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 1, "鉄", 0, 11) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 2, "ステンレス", 0, 12) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 1, "紙", 1, 21) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsADD("zaishitu", 2, "ガラス", 1, 22)  DbGridEx1.Record.Clear DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1.Record.AddData("zaishitu", 1) DbGridEx1.Record.AddFilter("zaishitu", 0) '鉄 or ステンレス DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1.Record.AddData("zaishitu", 2) DbGridEx1.Record.AddFilter("zaishitu", 1) '紙 or ガラス DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.ComboOption("zaishitu")) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.ComboOption("zaishitu")) </pre>



No 73

機能	レコードのカレント行に削除フラグを設定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	Delete
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	レコードのカレント行に削除フラグを設定します
注意点	
使用例	DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() DbGridEX1.CurrentRecord.Delete()

No 74

機能	レコードのカレント行に変更フラグを設定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	EditSet
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	レコードのカレント行に変更フラグを設定します
注意点	
使用例	DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() DbGridEx1.CurrentRecord.EditSet()

No 75

機能	抽出フィルター動作のフィルター設定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	Filter
種別	メソッド
引数	FilterMode As LineStatus (抽出対象) <ul style="list-style-type: none"> <li>• DbGridEx.LineStatus.NormalLine (標準状態)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NormalEdit (標準行の編集)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NormalDelete (標準行の削除)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NewLine (追加行)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NewEdit (追加行の編集)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NewDelete (追加行の削除)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.AllLine (全行)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NewLine_NewEdit (追加行、追加行の編集)</li> <li>• DbGridEx.LineStatus.NotDelete (NormalDelete + NewDelete 以外)</li> </ul> 値は加算することができます
戻り値	
動作内容	抽出フィルター動作の対象となる行を指定します 再設定するまで状態は保持されます
注意点	設定の後にMoveFirstで先頭に移動してください
使用例	<pre> DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() Do Until DbGridEx1.CurrentRecord.EOF     Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.GetRecordNo)     DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() Next </pre>

No 76

機能	抽出フィルター動作のフィルター設定（削除行以外）
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	FilterNotDelete
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	抽出フィルター動作の対象となる行を指定します 削除行以外が対象となります ・ DbGridEx.LineStatus.NormalLine（標準状態） ・ DbGridEx.LineStatus.NormalEdit（標準行の編集） ・ DbGridEx.LineStatus.NewLine（追加行） ・ DbGridEx.LineStatus.NewEdit（追加行の編集） 再設定するまで状態は保持されます
注意点	設定の後にMoveFirstで先頭に移動してください
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.FilterNotDelete() DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() Do Until DbGridEx1.CurrentRecord.EOF     Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.GetRecordNo)     DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() Next</pre>

No 77

機能	レコードのカレント行の日付の判定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	IsDay
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Boolean (日付の場合True 日付以外False)
動作内容	レコードのカレント行の指定カラムの値が日付かを返します 日付の場合Trueを返します 日付でない場合はFalseを返します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() If DbGridEX1.CurrentRecord.IsDay("ABC") Then     Debug.Print("Date") Else     Debug.Print("Not Date") End If</pre>

No 78

機能	レコードのカレント行のNullの判定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	IsNull
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Boolean (Nullの場合True Null以外False)
動作内容	レコードのカレント行の指定カラムの値がNullかを返します Nullの場合Trueを返します Nullでない場合はFalseを返します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() If DbGridEX1.CURRENTRecord.IsNull("ABC") Then     Debug.Print("Null") Else     Debug.Print("Not Null") End If</pre>

No 79

機能	レコードのカレント行の管理番号を取得
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	KeyCode
種別	メソッド
引数	
戻り値	Long (レコードのカレント行の管理番号)
動作内容	DataSetとグリッドを関連付けする管理番号を取得します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() Debug.Print(DbGridEX1.CurrentRecord.KeyCode)</pre>

No 80

機能	レコードのカレント行に該当するグリッド行の読取り専用状態を取得／設定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	Lock
種別	メソッド
引数	Optional Boolean (ロック状態の指定) ロック状態 True 行の変更を不可にします False 行の変更を可能にします
戻り値	Boolean (ロック状態)
動作内容	レコードのカレント行が対象です 引数にロック状態を設定しない場合は、値を取得します 引数にロック状態を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre>' 値を取得 If DbGridEx1.CurrentRecord.Lock() Then     Debug.Print("ロックされています") Else     Debug.Print("ロックされていません") End If  ' ロックを設定 DbGridEx1.CurrentRecord.Lock(True) ' ロックを解除 DbGridEx1.CurrentRecord.Lock(False)</pre>



No 81

機能	レコードのカレント行を先頭に移動
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	MoveFirst
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	フィルターの条件に合致するレコードの先頭に移動します（レコード番号順）
注意点	フィルター条件が一致する行がなければEOF状態になります
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() Do Until DbGridEx1.CurrentRecord.EOF     Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.GetRecordNo)     DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() Next</pre>

No 82

機能	レコードのカレント行を最終行に移動
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	MoveLast
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	フィルターの条件に合致する最終のレコードに移動します（レコード番号順）
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveLast() Do Until DbGridEx1.CurrentRecord.BOF     Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.GetRecordNo)     DbGridEx1.CurrentRecord.MovePervious() Next</pre>

No 83

機能	レコードのカレント行を次の行に移動
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	MoveNext
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	フィルターの条件に合致する次のレコードに移動します（レコード番号順）
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() Do Until DbGridEx1.CurrentRecord.EOF     Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.GetRecordNo)     DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() Next</pre>

No 84

機能	レコードのカレント行を前の行に移動
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	MovePervious
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	フィルターの条件に合致する前のレコードに移動します（レコード番号順）
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveLast() Do Until DbGridEx1.CurrentRecord.BOF     Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.GetRecordNo)     DbGridEx1.CurrentRecord.MovePervious() Next</pre>

No 85

機能	レコードのカレント行を指定行に移動
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	MoveRecord
種別	メソッド
引数	Integer (レコード番号)
戻り値	Boolean (移動成功True 失敗False)
動作内容	指定した行に移動します ただし、移動先が抽出フィルターの条件に合致しない場合はEOF状態になります
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) If DbGridEx1.CurrentRecord.MoveRecord(10) Thne     Debug.Print("移動成功") Else     Debug.Print("移動失敗") End If</pre>

No 86

機能	レコードのカレント行のレコード番号の取得
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	RecordNo
種別	メソッド
引数	
戻り値	Integer (カレントレコードのレコード番号)
動作内容	レコードのカレント行のレコード番号を返します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() Do Until DbGridEx1.CurrentRecord.EOF     Debug.Print(DbGridEX1.CurrentRecord.RecordNo)     DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() Loop</pre>

機能	レコードのカレント行の状態を取得／設定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	Status
種別	メソッド
引数	Optional LineEditMode (状態フラグ) <ul style="list-style-type: none"> <li>• NoEdit 変更なし</li> <li>• Edited 編集済み</li> <li>• Deleted 削除</li> <li>• NewLine 新規行</li> <li>• NewEdit 新規行の編集済み</li> <li>• DeleteNewLine 新規行の削除</li> </ul>
戻り値	LineEditMode (状態フラグ) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコードのカレント行が対象です 引数にレコード状態を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード状態を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1.Init(Me) DbGridEx1.Grid.Column.Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("hinmei", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("hinmei", DbGridEx.IMEtype.Hiragana)  DbGridEx1.Grid.Column.Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("kikaku", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("kikaku", DbGridEx.IMEtype.Hiragana) DbGridEx1.CreateGrid()  DbGridEx1.Record.Clear DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1.Record.AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1.Record.AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() DbGridEx1.CurrentRecord.Status(DbGridEx.LineEditMode.Deleted) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() DbGridEx1.CurrentRecord.Status(DbGridEx.LineEditMode.Deleted) </pre>

機能	レコードのカレント行の値を取得／設定
クラス	DbGridEX.CurrentRecord
名称	Value
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	String (カラム名) Optional Object (レコードに登録する値) Optional Boolean (Nullの登録)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコードのカレント行が対象です 引数にレコード登録値を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード登録値を設定した場合は、その値をレコードに登録します 引数のNull登録を有効にすると、値を無視してNullに登録します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1.Init(Me) DbGridEx1.Grid.Column.Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("hinmei", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("hinmei", DbGridEx.IMEtype.Hiragana)  DbGridEx1.Grid.Column.Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx.ColumnType.StringType, 340, 40, _     DbGridEx.CellEdit.EditMode) DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("kikaku", _     DbGridEx.DispPosition.MidLeft) DbGridEx1.Grid.Column.IME("kikaku", DbGridEx.IMEtype.Hiragana) DbGridEx1.CreateGrid()  DbGridEx1.Record.Clear DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1.Record.AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.Record.AddNew DbGridEx1.Record.AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1.Record.AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1.Record.AddUpdate  DbGridEx1.CurrentRecord.Filter(DbGridEx.LineStatus.NormalEdit) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.Value("hinmei")) DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() Debug.Print(DbGridEx1.CurrentRecord.Value("hinmei"))  DbGridEx1.CurrentRecord.MoveFirst() DbGridEx1.CurrentRecord.Value("hinmei", "品名 3 ") '品名 3 を登録 DbGridEx1.CurrentRecord.MoveNext() DbGridEx1.CurrentRecord.Value("hinmei", "", True) 'Null を登録 </pre>



No 89

機能	指定したレコードが変更されたかを取得
クラス	DbGridEX. Status
名称	Changed
種別	メソッド
引数	RecordLine As Integer (レコード番号)
戻り値	Boolean (変更状態) 変更がある場合True 変更がない場合False
動作内容	レコード番号で指定した行が変更されたかを取得します
注意点	
使用例	<pre>If DbGridEx1.Status.Changed(10) Then     Debug.Print("Changed") Else     Debug.Print("No Changed") End If</pre>

No 90

機能	レコードのカレント行が変更されたかを取得
クラス	DbGridEX. Status
名称	CurrentChanged
種別	メソッド
引数	
戻り値	Boolean (変更状態) 変更がある場合True 変更はない場合False
動作内容	レコードのカレント行が変更されたかを取得します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst () If DbGridEx1. Status. CurrentChanged () Then     Debug. Print ("Changed") Else     Debug. Print ("No Changed") End If</pre>

No 91

機能	グリッドの現在行に削除フラグを設定
クラス	DbGridEX. Status
名称	CurrentGridDelete
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	カーソルがあるグリッド行に削除フラグを設定します
注意点	
使用例	DbGridEx1. Status. CurrentGridDelete()

No 92

機能	グリッドの現在行に変更フラグを設定
クラス	DbGridEX. Status
名称	CurrentGridEditSet
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	グリッドの現在行に変更フラグを設定します
注意点	
使用例	DbGridEx1. Status. CurrentGridEditSet ()

No 93

機能	レコードのカレント行に変更フラグを設定
クラス	DbGridEX. Status
名称	CurrentRecordEditSet
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	レコードのカレント行に変更フラグを設定します
注意点	
使用例	DbGridEx1. Record. StatusFilter (DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst () DbGridEx1. Status. CurrentRecordEditSet ()

機能	レコードのカレント行の状態を取得／設定
クラス	DbGridEX. Status
名称	CurrentValue
種別	メソッド (抽出フィルター動作)
引数	Optional LineEditMode (状態フラグ) <ul style="list-style-type: none"> <li>• NoEdit 変更なし</li> <li>• Edited 編集済み</li> <li>• Deleted 削除</li> <li>• NewLine 新規行</li> <li>• NewEdit 新規行の編集済み</li> <li>• DeleteNewLine 新規行の削除</li> </ul>
戻り値	LineEditMode (状態フラグ) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコードのカレント行が対象です 引数にレコード状態を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード状態を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40,     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei",     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40,     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku",     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. StatusFilter(DbGridEx. LineStatus. NormalEdit) DbGridEx1. Record. MoveFirst() DbGridEx1. Status. CurrentValue(DbGridEx. LineEditMode. Deleted) DbGridEx1. Record. MoveNext() DbGridEx1. Status. CurrentValue(DbGridEx. LineEditMode. Deleted) </pre>

No 95

機能	指定したレコードに変更フラグを設定
クラス	DbGridEX. Status
名称	EditSet
種別	メソッド
引数	Integer (レコード番号)
戻り値	
動作内容	レコード番号で指定した行に変更フラグを設定します
注意点	
使用例	DbGridEx1. Status. EditSet (5)

No 96

機能	指定したレコードに該当するグリッド行の読取り専用状態を取得／設定
クラス	DbGridEX. Status
名称	Lock
種別	メソッド
引数	Integer (レコード番号) Optional Boolean (ロック状態の指定) ロック状態 True 行の変更を不可にします False 行の変更を可能にします
戻り値	Boolean (ロック状態)
動作内容	レコード番号で指定した行が対象です 引数にロック状態を設定しない場合は、値を取得します 引数にロック状態を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre> ' 値を取得 If DbGridEx1. Status. Lock(10) Then     Debug. Print("ロックされています") Else     Debug. Print("ロックされていません") End If  ' ロックを設定 DbGridEx1. Status. Lock(10, True) ' ロックを解除 DbGridEx1. Status. Lock(10, False) </pre>



機能	指定したレコードの状態を取得／設定
クラス	DbGridEX. Status
名称	Value
種別	メソッド
引数	Integer (レコード番号) Optional LineEditMode (状態フラグ) ・ NoEdit 変更なし ・ Edited 編集済み ・ Deleted 削除 ・ NewLine 新規行 ・ NewEdit 新規行の編集済み ・ DeleteNewLine 新規行の削除
戻り値	LineEditMode (状態フラグ) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	レコード番号で指定した行が対象です 引数にレコード状態を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード状態を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1. Init (Me) DbGridEx1. Grid. Column. Add("hinmei", "品名", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40,     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("hinmei",     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("hinmei", DbGridEx. IMEtype. Hiragana)  DbGridEx1. Grid. Column. Add("kikaku", "規格", _     DbGridEx. ColumnType. StringType, 340, 40,     DbGridEx. CellEdit. EditMode) DbGridEx1. Grid. Column. CellPosition("kikaku",     DbGridEx. DispPosition. MidLeft) DbGridEx1. Grid. Column. IME("kikaku", DbGridEx. IMEtype. Hiragana) DbGridEx1. CreateGrid()  DbGridEx1. Record. Clear DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 1 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 1 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Record. AddNew DbGridEx1. Record. AddData("hinmei", "品名 2 ") DbGridEx1. Record. AddData("kikaku", "規格 2 ") DbGridEx1. Record. AddUpdate  DbGridEx1. Status. Value(1, DbGridEx. LineEditMode. Deleted) DbGridEx1. Status. Value(2, DbGridEx. LineEditMode. Deleted)           </pre>

No 98

機能	グリッドの背景色を設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	BackColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	グリッドの背景色を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.BackColor = Color.White</pre>

No 99

機能	背景色の拡張モード指定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	BackColorExtMode
種別	プロパティ
引数	Boolean (拡張状態) True 拡張モードを有効にします False 拡張モードを無効にします
戻り値	Boolean (拡張状態) True 拡張モードが有効 False 拡張モードが無効
動作内容	背景色の状態を設定します 拡張モードが有効な場合 ・読み出し専用に設定されたセル=ReadOnlyBackColorプロパティの背景色 ・フォーカスが当たっているセル=FocusBackColorプロパティの背景色 が適用されます
注意点	
使用例	' 拡張状態に設定します DbGridEx1.Grid.BackColorExtMode = True

No 100

機能	ボタンの色を設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ButtonColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	ボタンの色を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.ButtonColor = System.Drawing.SystemColors.Control</pre>

No 101

機能	ボタンの左側と上側の色を設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ButtonHightLight
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	ボタンの左側と上側の色を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.ButtonHightLight = System.Drawing.SystemColors.ButtonHighlight</pre>

No 102

機能	ボタンの右側と下側の色を設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ButtonShadow
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	ボタンの右側と下側の色を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.ButtonShadow = System.Drawing.SystemColors.ButtonShadow</pre>

No 103

機能	DropDownListカラムのセルをクリックした時にリスト表示するかを指定
クラス	DbGridEX. Grid
名称	ComboClickToDropDown
種別	プロパティ
引数	Boolean (リスト表示するTrue リスト表示しないFalse)
戻り値	Boolean (リスト表示するTrue リスト表示しないFalse)
動作内容	DropDownListカラムのセルをクリックした時の動作を指定します 表示する (True)に設定されている場合は、クリックと同時に ドロップダウンのリストを表示します
注意点	
使用例	' リストを表示する状態に設定 DbGridEx1. Grid. ComboClickToDropDown = True

No 104

機能	グリッドに表示されている行数を取得
クラス	DbGridEX.Grid
名称	Count
種別	プロパティ
引数	
戻り値	Integer (表示行数)
動作内容	表示行数を取得します
注意点	
使用例	' 値を取得 Debug.Print(DbGridEx1.Grid.Count)



No 105

機能	カーソルがあるグリッド行番号を取得
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CurrentCellRowIndex
種別	プロパティ
引数	
戻り値	Integer (グリッド行番号)
動作内容	カーソルがあるグリッド行番号を取得します
注意点	
使用例	<pre>' 現在位置を取得 Debug.Print(DbGridEx1.Grid.CurrentCellRowIndex)</pre>

No 106

機能	グリッドの表示条件
クラス	DbGridEX.Grid
名称	Filter
種別	プロパティ
引数	String (表示条件)
戻り値	
動作内容	レコードに登録されているデータの中で、グリッドに表示できるデータを制限します
注意点	
使用例	<p>' 条件を設定 DbGridEx1.Grid.Filter = "ABC &gt; 0 and DEF = 0"</p> <p>文字列の内容 カラム名 比較演算子 値 で条件を設定します 複数の条件は AND または or で接続します</p>

No 107

機能	フォーカス時の背景色
クラス	DbGridEX.Grid
名称	FocusBackColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	選択中のセルの背景色を指定します
注意点	BackColorExtModeが有効な場合に動作します
使用例	<pre>' 背景色を設定 DbGridEx1.Grid.FocusBackColor = Color.Yellow DbGridEx1.Grid.ReadOnlyBackColor = Color.YellowGreen  ' 拡張モードを有効 DbGridEx1.Grid.BackColorExtMode = True</pre>

No 108

機能	フォーカスが当たった時に文字を全選択にするかを設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	FocusToSelectAll
種別	プロパティ
引数	Boolean (全選択にするTrue 全選択しないFalse)
戻り値	Boolean (全選択にするTrue 全選択しないFalse)
動作内容	セルにフォーカスが当たった時に文字を全選択にするかを設定します
注意点	
使用例	<pre>' 全選択状態を設定 DbGridEx1.Grid.FocusToSelectAll = True    ' 全選択にします</pre>

No 109

機能	文字のフォント設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	Font
種別	プロパティ
引数	System.Drawing.Font
戻り値	System.Drawing.Font
動作内容	文字のフォント設定をします
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.Font = New Font("MS ゴシック", 10)</pre>

No 110

機能	グリッドの文字色を設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	FontColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	グリッドの文字色を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.FontColor = Color.Black</pre>

No 111

機能	グリッドの文字色を設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ForeColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	グリッドの文字色を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.ForeColor = Color.Black</pre>

No 112

機能	グリッドの文字色を設定（数値がマイナスの場合の文字色）
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ForeMinusColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	グリッドの文字色を設定します 数値型カラムに設定されていて、マイナスの場合に適用されます
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.ForeMinusColor = Color.Red</pre>



No 113

機能	最終行の最終セルを判定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	IsLastCell
種別	プロパティ
引数	
戻り値	Boolean (最終セルの場合True)
動作内容	グリッドの最終行の最終セルにカーソルがあるかを判定します
注意点	
使用例	<pre>If DbGridEx1.Grid.IsLastCell Then     MsgBox("最終セルです") Else     MsgBox("最終セルではありません") End If</pre>

No 114

機能	行の段数を設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	LineMax
種別	プロパティ
引数	Integer (段の段数)
戻り値	Integer (段の段数)
動作内容	段の段数を設定します
注意点	カラムの設定を行う前に実行する必要があります
使用例	<pre>' 段の段数を設定 DbGridEx1.Grid.LineMax = 2  内部で設定される初期値は 1 です</pre>

No 115

機能	複数着色の背景色
クラス	DbGridEX.Grid
名称	MultiBackColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	複数着色の背景色を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.MultiBackColor = System.Drawing.Color.PaleTurquoise</pre>

No 116

機能	行着色のモード
クラス	DbGridEX.Grid
名称	MultiColorMode
種別	プロパティ
引数	RowMultiColor (行着色モード)
戻り値	RowMultiColor (行着色モード)
動作内容	行着色のモードを設定します
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.MultiColorMode = DbGridEx.RowMultiColor.AllLine  RowMultiColor = AllLine   すべての行に着色します EvenLine  偶数行に着色します OddLine   奇数行に着色します MultiOff  着色しません</pre>

No 117

機能	複数着色の文字色
クラス	DbGridEX.Grid
名称	MultiFontColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	複数着色の文字色を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.MultiFontColor = System.Drawing.SystemColors.WindowText</pre>

No 118

機能	読み出し専用状態の背景色
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ReadOnlyBackColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	読み出し専用のセルの背景色を指定します
注意点	BackColorExtModeが有効な場合に動作します
使用例	<pre>' 背景色を設定 DbGridEx1.Grid.FocusBackColor = Color.Yellow DbGridEx1.Grid.ReadOnlyBackColor = Color.YellowGreen  ' 拡張モードを有効 DbGridEx1.Grid.BackColorExtMode = True</pre>

No 119

機能	セルにフォーカスが当たった時の表示状態を指定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ReadOnlyFocus
種別	プロパティ
引数	Boolean (編集時と同じ表示にするTrue ReadOnly用の表示False)
戻り値	Boolean (編集時と同じ表示にするTrue ReadOnly用の表示False)
動作内容	ReadOnlyが設定されているセルにフォーカスが当たった場合に 編集可能な表示と同様の状態にするかを指定します Falseに設定すると、フォーカスが当たっても変化がありません
注意点	
使用例	' 表示状態を設定 DbGridEx1.Grid.ReadOnlyFocus = True ' ReadOnlyのセルの表示を編集時と同様の状態にします

No 120

機能	段の高さを設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	RowHeight
種別	プロパティ
引数	Integer (段の高さ)
戻り値	Integer (段の高さ)
動作内容	段の高さ (ピクセル値) を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 段の高さを設定 DbGridEx1.Grid.RowHeight = 25</pre> <p>行の高さについて RowHeight で基本高さを設定します LineMax で各段に基本高さを割り当てします LineHeight で各段の高さを調整します CreateGrid で設定済みの高さでグリッドを作成します</p>



No 121

機能	スクロールバーの表示方法
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ScrollBarDisp
種別	プロパティ
引数	Auto = 水平方向、垂直方向のスクロールバーを自動的に表示 HorizontalOff = 水平方向スクロールバーを表示しません VerticalOff = 垂直方向スクロールバーを表示しません
戻り値	Auto = 水平方向、垂直方向のスクロールバーを自動的に表示 HorizontalOff = 水平方向スクロールバーを表示しません VerticalOff = 垂直方向スクロールバーを表示しません
動作内容	スクロールバーの表示方法を指定します
注意点	
使用例	' 値を設定 DbGridEx1.Grid.ScrollBarDisp = ScrollBarType.HorizontalOff

No 122

機能	選択行の背景色を設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	SelectLineBackColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	選択行の背景色を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.SelectLineBackColor = Color.Yellow</pre>

No 123

機能	選択行用の背景色と文字色を表示するかの指定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	SelectLineColor
種別	プロパティ
引数	Boolean (表示するTrue 表示しないFalse)
戻り値	Boolean (表示するTrue 表示しないFalse)
動作内容	選択された行を選択行用の背景色と文字色で表示するかを指定します
注意点	
使用例	<pre>' 表示する場合の設定 DbGridEx1.Grid.SelectLineColor = True</pre>

No 124

機能	選択行の文字色を設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	SelectLineForeColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	選択行の文字色を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 値を設定 DbGridEx1.Grid.SelectLineForeColor = Color.Black</pre>

No 125

機能	表示の並び順
クラス	DbGridEX.Grid
名称	Sort
種別	プロパティ
引数	String (表示の並び順文字列)
戻り値	
動作内容	表示の並び順を設定します
注意点	
使用例	<p>' 並び順を設定 DbGridEx1.Grid.Sort = "ABC , DEF DESC"</p> <p>並び順の記述 フィールド名 , フィールド名 [DESC]</p> <p>フィールド名が複数ある場合は、「,」で区切ります フィールド名が左側にあるほど並び替えの優先度が高くなります 「DESC」をフィールド名の後ろに付加すると、そのフィールドは降順で並び替えします</p>

No 126

機能	グリッド行番号とカラム名で指定したセルの背景色を設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CellBackColor
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (グリッド行番号) Optional Color (セルに設定する背景色)
戻り値	
動作内容	グリッド行番号で指定した行に相当するレコードが対象です 背景色を指定しないで実行すると、登録済みの背景色を初期化します
注意点	
使用例	' 指定したセルに相当するレコードに背景色と文字色を登録 DbGridEx1.Grid.CellForeColor("ABC", 3, Color.Red) DbGridEx1.Grid.CellBackColor("ABC", 3, Color.Yellow)

No 127

機能	グリッド行番号とカラム名で指定したセルの文字色を設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CellForeColor
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (グリッド行番号) Optional Color (セルに設定する文字色)
戻り値	
動作内容	グリッド行番号で指定した行に相当するレコードが対象です 文字色を指定しないで実行すると、登録済みの文字色を初期化します
注意点	
使用例	' 指定したセルに相当するレコードに背景色と文字色を登録 DbGridEx1.Grid.CellForeColor("ABC", 3, Color.Red) DbGridEx1.Grid.CellBackColor("ABC", 3, Color.Yellow)

No 128

機能	グリッドの現在行の指定カラムの日付状態検出
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CellIsDate
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Boolean (日付の状態)
動作内容	指定したセルの値が日付として正常かを取得します
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行の日付状態を取得 If DbGridEx1.Grid.CellIsDate("ABC") Then     Debug.Print("日付は正常です") Else     Debug.Print("日付は異常です") End If</pre>



No 129

機能	グリッドの現在行の指定カラムのNull検出
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CellIsNull
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Boolean (Null状態)
動作内容	グリッドの現在行で指定したカラムの値がNullかを取得します
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行のNull状態を取得 If DbGridEx1.Grid.CellIsNull("ABC") Then     Debug.Print("NULLです") Else     Debug.Print("NULLではありません") End If</pre>

No 130

機能	カーソルの移動
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CellMove
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (グリッド行番号)
戻り値	
動作内容	指定したカラム／グリッド行にカーソルを移動します
注意点	
使用例	’グリッドのカーソルを移動 DbGridEx1.Grid.CellMove(“ABC” , 0)

No 131

機能	指定したグリッド行番号のセルの読み出し専用フラグを設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CellReadOnly
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (グリッド行番号) Optional Boolean (True 読み出し専用 False 通常)
戻り値	
動作内容	指定したグリッド行が対象 指定したセルの読み取り専用状態を設定します
注意点	
使用例	' 読み取り専用にします DbGridEx1.Grid.CellReadOnly("ABC", 5, True)

No 132

機能	グリッドに無文字かNullが存在するかを確認
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CheckChar
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Integer (グリッド行番号) 「無文字」またはNullが存在しない場合は、－1を返します
動作内容	グリッドの指定したカラムに0文字かNullが存在するかを確認し、 無文字またはNullが存在する場合はグリッド行番号を返します 複数のレコードが該当する場合は、グリッド行番号の小さい順に出力されます 該当する行が存在しない場合は、－1を返します
注意点	文字型のカラムを指定します
使用例	Debug.Print(DbGridEX1.Grid.CheckChar("ABC"))

No 133

機能	グリッドに日付異常かNullが存在するかを確認
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CheckDate
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Integer (グリッド行番号) 日付異常かNullが存在しない場合は、－1を返します
動作内容	グリッドの指定したカラムに日付異常かNullが存在するかを確認し、 日付異常かNullが存在する場合はグリッド行番号を返します 複数のレコードが該当する場合は、グリッド行番号の小さい順に出力されます 該当する行が存在しない場合は、－1を返します
注意点	日付型のカラムを指定します
使用例	Debug.Print(DbGridEX1.Grid.CheckDate("ABC"))

No 134

機能	コードの重複が存在するかを確認
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CheckDuplicate
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Integer (グリッド行番号) 重複が存在しない場合は、－1を返します
動作内容	指定したカラムで値の重複を検出します 同一の数値が他のグリッド行に存在する場合はグリッド行番号を返します 該当する行が存在しない場合は、－1を返します
注意点	数値型カラムを指定します
使用例	Debug.Print(DbGridEX1.Grid.CheckDuplicate("ABC"))

No 135

機能	グリッドにNullが存在するかを確認
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CheckNull
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Integer (グリッド行番号) Nullが存在しない場合は、－1を返します
動作内容	グリッドの指定したカラムにNullが存在するかを確認し、 Nullが存在する場合はグリッド行番号を返します 複数のレコードが該当する場合は、グリッド行番号の小さい順に出力されます 該当する行が存在しない場合は、－1を返します
注意点	
使用例	Debug.Print(DbGridEX1.Grid.CheckNull("ABC"))

No 136

機能	グリッドに 0 かNullが存在するかを確認
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CheckZero
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Integer (グリッド行番号) 「0」かNullが存在しない場合は、-1 を返します
動作内容	グリッドの指定したカラムに「0」またはNullが存在するかを確認し、 「0」かNullが存在する場合はグリッド行番号を返します 複数のレコードが該当する場合は、グリッド行番号の小さい順に出力されます 該当する行が存在しない場合は、-1 を返します
注意点	数値型のカラムを指定します
使用例	Debug.Print(DbGridEX1.Grid.CheckZero("ABC"))



No 137

機能	グリッド行番号とカラム名で指定したCombo用フィルター値を取得／設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ComboFilter
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (グリッド行番号) Optional Object (レコードに登録する値)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	グリッド行番号で指定した行に相当するレコードが対象です 引数にレコード登録値を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード登録値を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<p>’ 指定したセルに相当するDropDownListフィルター値を取得 Debug.Print(DbGridEx1.Grid.ComboFilter("ABC",3))</p> <p>’ 指定したセルに相当するDropDownListフィルター値を登録 DbGridEx1.Grid.ComboFilter("ABC",3,1000)</p>

No 138

機能	グリッド行番号とカラム名で指定したCombo用オプション値を取得／設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ComboOption
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (グリッド行番号) Optional Integer (レコードに登録する値)
戻り値	Integer (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	グリッド行番号で指定した行に相当するレコードが対象です 引数にレコード登録値を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード登録値を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	' 指定したセルに相当するDropDownListオプション値を取得 Debug.Print(DbGridEx1.Grid.ComboOption("ABC",3))

機能	現在のグリッド行とカラム名で指定したComboのフィルター値を取得／設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CurrentComboFilter
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Object (レコードに登録する値)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	カーソルのあるグリッド行に相当するレコードが対象です 引数にレコード登録値を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード登録値を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行に相当するレコードの値を取得 Debug.Print(DbGridEx1.Grid.CurrentComboFilter("ABC"))  ' グリッドの現在行に相当するレコードに値を登録 DbGridEx1.Grid.CurrentComboFilter("ABC", 1000)</pre>

No 140

機能	グリッドの現在行の管理番号を取得
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CurrentKeyCode
種別	メソッド
引数	
戻り値	Long (管理番号)
動作内容	グリッドの現在行に設定されている管理番号を取得します
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行の管理番号を取得 Debug.Print(DbGridEx1.Grid.CurrentKeyCode())</pre>

No 141

機能	グリッドの現在行のセルの読み出し専用フラグを設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CurrentReadOnly
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Object (レコードに登録する値)
戻り値	
動作内容	グリッドの現在行が対象です 指定したセルの読み取り専用状態を設定します
注意点	
使用例	' 読み取り専用にします DbGridEx1.Grid.CurrentReadOnly("ABC", True)

No 142

機能	グリッドの現在行に相当するレコード番号を取得
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CurrentRecordNo
種別	メソッド
引数	
戻り値	Integer (レコード番号)
動作内容	グリッドの現在行に相当するレコード番号を返します
注意点	
使用例	<pre>' レコード番号を取得 Debug.Print(DbGridEx1.Grid.CurrentRecordNo())</pre>

No 143

機能	現在のグリッド行とカラム名で指定したセルの値を取得／設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	CurrentValue
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Object (レコードに登録する値)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	カーソルのあるグリッド行に相当するレコードが対象です 引数にレコード登録値を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード登録値を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行に相当するレコードの値を取得 Debug.Print(DbGridEx1.Grid.CurrentValue("ABC"))  ' グリッドの現在行に相当するレコードに値を登録 DbGridEx1.Grid.CurrentValue("ABC",1000)</pre>

No 144

機能	グリッドの現在行に削除フラグのセット
クラス	DbGridEX.Grid
名称	Delete
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	グリッドの現在行に削除フラグをセットします
注意点	
使用例	' グリッドの現在行を削除 DbGridEx1.Grid.Delet()



No 145

機能	指定値を検索してカーソルを移動
クラス	DbGridEX.Grid
名称	FindMove
種別	メソッド
引数	String (検索対象カラム名) Long (検索値) String (カーソルの移動カラム名)
戻り値	
動作内容	検索対象カラムで、検索値に該当するグリッド行を検出します 検出した場合に、移動カラム名にカーソルを移動します
注意点	検索を行うカラムは整数型のカラムを指定してください
使用例	’グリッドのカーソルを移動 DbGridEx1.Grid.FindMove("ABC" , 100 , "DEF")

No 146

機能	指定したグリッド行番号からレコード番号を取得
クラス	DbGridEX.Grid
名称	GetRecordNo
種別	メソッド
引数	Integer (グリッド行番号)
戻り値	Integer (レコード番号)
動作内容	グリッド行番号からレコードの行番号を取得します
注意点	
使用例	<pre>' 行番号の取得 Debug.Print(DbGridEx1.Grid.GetRecordNo(10))</pre>

No 147

機能	指定したグリッド行番号の指定カラムの日付状態検出
クラス	DbGridEX.Grid
名称	IsDay
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (グリッド行番号)
戻り値	Boolean (日付の状態)
動作内容	指定したセルの値が日付として正常かを取得します
注意点	
使用例	<pre>' 指定したグリッド行の日付状態を取得 If DbGridEx1.Grid.IsDay("ABC",10) Then     Debug.Print("日付は正常です") Else     Debug.Print("日付は異常です") End If</pre>

No 148

機能	指定したグリッド行番号の指定カラムのNull検出
クラス	DbGridEX.Grid
名称	IsNull
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (グリッド行番号)
戻り値	Boolean (Null状態)
動作内容	指定したグリッド行番号の指定したカラムの値がNullかを取得します
注意点	
使用例	<pre>' 指定したグリッド行番号のNull状態を取得 If DbGridEx1.Grid.CellIsNull("ABC",10) Then     Debug.Print("NULLです") Else     Debug.Print("NULLではありません") End If</pre>

No 149

機能	段の高さ
クラス	DbGridEX.Grid
名称	LineHeight
種別	メソッド
引数	Integer (段番号) Integer (段の高さ)
戻り値	
動作内容	複数段表示指定が無い場合は、段番号＝0のみ設定可能です 複数段の場合は、各段の番号を指定して高さを設定します 高さはピクセル値で指定します
注意点	CreateGrid実行前に使用してください
使用例	'グリッドの段高さを指定 DbGridEx1.Grid.LineHeight(0 , 25)

No 150

機能	指定カラムの最大値を取得
クラス	DbGridEX.Grid
名称	MaxCode
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Integer (指定したカラムの最大値)
動作内容	指定したカラムの最大値を取得します
注意点	
使用例	Debug.Print(DbGridEX1.Grid.MaxCode("ABC"))

No 151

機能	指定カラムの最小値を取得
クラス	DbGridEX.Grid
名称	MinCode
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Integer (指定したカラムで最小値 [マイナス方向の最大値] )
動作内容	指定したカラムの最小値を取得します
注意点	
使用例	Debug.Print(DbGridEX1.Grid.MinCode("ABC"))

No 152

機能	指定したレコード番号の行にカーソル移動
クラス	DbGridEX.Grid
名称	MoveRecordNo
種別	メソッド
引数	Integer (レコード番号) Optional String (カラム名)
戻り値	
動作内容	指定したレコード番号の行にカーソルを移動します カラム名を指定した場合は、カラムをフォーカスします
注意点	
使用例	’レコード番号10行の”ABC”カラムにフォーカスを移動します DbGridEX1.Grid.MoveRecordNo(10 , ”ABC”)



No 153

機能	指定したグリッド行番号のセルの読み出し専用フラグを設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ReadOnlyMode
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (グリッド行番号) Optional Boolean (True 読み出し専用 False 通常)
戻り値	
動作内容	指定したグリッド行が対象 指定したセルの読み取り専用状態を設定します
注意点	
使用例	' 読み取り専用にします DbGridEx1.Grid.ReadOnlyMode("ABC", 5, True)

No 154

機能	再表示
クラス	DbGridEX.Grid
名称	Refresh
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	グリッドの値を再表示します
注意点	頻繁に実行するとチラツキが発生します
使用例	’ 値の再表示 DbGridEx1.Grid.Refresh()

No 155

機能	グリッド行番号とカラム名で指定したセルの値を取得／設定
クラス	DbGridEX.Grid
名称	Value
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (グリッド行番号) Optional Object (レコードに登録する値)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	グリッド行番号で指定した行に相当するレコードが対象です 引数にレコード登録値を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード登録値を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<p>’ 指定したセルに相当するレコードの値を取得  Debug.Print(DbGridEx1.Grid.Value("ABC",3))</p> <p>’ 指定したセルに相当するレコードに値を登録  DbGridEx1.Grid.Value("ABC",3,1000)</p>

No 156

機能	隣接行の値入れ替え
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ValueChange
種別	メソッド
引数	String (入替えカラム名) LineChange (入替え方向) Optional String (入替え後のカーソル移動カラム名) 入替え方向 DownLine グリッドの現在行と下の行について入替えします UpLine グリッドの現在行と上の行について入替えします
戻り値	
動作内容	グリッドの現在行と、上または下の行の指定カラムの値を入替えします
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行と下の行の値を入替えします DbGridEx1.Grid.ValueChange("ABC", LineChange.DownLine , "DEF")</pre>

No 157

機能	カーソルがあるグリッド行番号を取得
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	RowIndex
種別	プロパティ
引数	
戻り値	Integer (グリッド行番号)
動作内容	カーソルがあるグリッド行番号を取得します
注意点	
使用例	' 現在位置を取得 Debug.Print(DbGridEx1.Grid.RowIndex)

No 158

機能	グリッドの現在行の背景色を設定
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	CellBackColor
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Color (レコードに登録する背景色)
戻り値	
動作内容	カーソルのあるグリッド行に相当するレコードが対象です 背景色を指定しないで実行すると、登録済みの背景色を初期化します
注意点	
使用例	’グリッドの現在行に背景色と文字色を登録 DbGridEx1.CurrentGrid.CellBackColor("ABC", Color.Yellow) DbGridEx1.CurrentGrid.CellForeColor("ABC", Color.Red)

No 159

機能	グリッドの現在行の文字色を設定
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	CellForeColor
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Color (レコードに登録する文字色)
戻り値	
動作内容	カーソルのあるグリッド行に相当するレコードが対象です 文字色を指定しないで実行すると、登録済みの文字色を初期化します
注意点	
使用例	’グリッドの現在行に背景色と文字色を登録 DbGridEx1.CurrentGrid.CellBackColor("ABC", Color.Yellow) DbGridEx1.CurrentGrid.CellForeColor("ABC", Color.Red)

No 160

機能	グリッドの現在行が変更されたかを取得
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	Changed
種別	メソッド
引数	
戻り値	Boolean (変更状態)
動作内容	カーソルのあるグリッド行に相当するレコードが対象です レコードが変更されているかを取得します 変更がある場合True 変更がない場合False
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行に相当するレコードの変更状態を取得 If DbGridEx1.CurrentGrid.Changed("ABC") Then     Debug.Print("変更あり") Else     Debug.Print("変更なし") End If</pre>



No 161

機能	現在のグリッド行とカラム名で指定したComboのフィルター値を取得／設定
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	ComboFilter
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Object (レコードに登録する値)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	カーソルのあるグリッド行に相当するレコードが対象です 引数にレコード登録値を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード登録値を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行に相当するレコードの値を取得 Debug.Print(DbGridEx1.CurrentGrid.ComboFilter("ABC"))  ' グリッドの現在行に相当するレコードに値を登録 DbGridEx1.CurrentGrid.ComboFilter("ABC", 1000)</pre>

No 162

機能	現在のグリッド行とカラム名で指定したCombo用オプション値を取得／設定
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	ComboOption
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Integer (レコードに登録する値)
戻り値	Integer (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	カーソルのあるグリッド行に相当するレコードが対象です 引数にレコード登録値を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード登録値を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	' 指定したセルに相当するDropDownListオプション値を取得 Debug.Print(DbGridEx1.Grid.ComboOption("ABC"))

No 163

機能	グリッドの現在行に削除フラグのセット
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	Delete
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	グリッドの現在行に削除フラグをセットします
注意点	
使用例	' グリッドの現在行を削除 DbGridEx1.CurrentGrid.Delete()

No 164

機能	グリッドの現在行に変更フラグを設定
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	EditSet
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	カーソルのあるグリッド行に相当するレコードが対象です 変更フラグを設定します
注意点	
使用例	’グリッドの現在行に相当するレコードに変更フラグを設定 DbGridEx1.CurrentGrid.EditSet()

No 165

機能	グリッドの現在行の指定カラムの日付状態検出
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	IsDay
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Boolean (日付の状態)
動作内容	指定したセルの値が日付として正常かを取得します
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行の日付状態を取得 If DbGridEx1.CurrentGrid.IsDay("ABC") Then     Debug.Print("日付は正常です") Else     Debug.Print("日付は異常です") End If</pre>

No 166

機能	グリッドの現在行の指定カラムのNull検出
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	IsNull
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	Boolean (Null状態)
動作内容	グリッドの現在行で指定したカラムの値がNullかを取得します
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行のNull状態を取得 If DbGridEx1.CurrentGrid.IsNull("ABC") Then     Debug.Print("NULLです") Else     Debug.Print("NULLではありません") End If</pre>

No 167

機能	グリッドの現在行の管理番号を取得
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	KeyCode
種別	メソッド
引数	
戻り値	Long (管理番号)
動作内容	グリッドの現在行に設定されている管理番号を取得します
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行の管理番号を取得 Debug.Print(DbGridEx1.CurrentGrid.KeyCode())</pre>

No 168

機能	グリッドの現在行に読取り専用状態を取得／設定
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	Lock
種別	メソッド
引数	Optional Boolean (True 読み出し専用 False 通常)
戻り値	Boolean (True 読み出し専用 False 通常)
動作内容	グリッドの現在行が対象です グリッドの現在行の読取り専用状態を設定します
注意点	
使用例	’ 読取り専用にします DbGridEx1.CurrentGrid.Lock(True)



No 169

機能	グリッドの現在行のセルの読み出し専用フラグを設定
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	ReadOnlyMode
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Boolean (True 読み出し専用 False 通常)
戻り値	
動作内容	グリッドの現在行が対象です 指定したセルの読み取り専用状態を設定します
注意点	
使用例	' 読み取り専用にします DbGridEx1.CurrentGrid.ReadOnlyMode("ABC", True)

No 170

機能	グリッドの現在行に相当するレコード番号を取得
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	RecordNo
種別	メソッド
引数	
戻り値	Integer (レコード番号)
動作内容	グリッドの現在行に相当するレコード番号を返します
注意点	
使用例	<pre>' レコード番号を取得 Debug.Print(DbGridEx1.CurrentGrid.RecordNo())</pre>

No 171

機能	グリッドの選択行を移動（フォーカス移動なし）
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	RowMove
種別	メソッド
引数	Integer（グリッド行番号）
戻り値	
動作内容	グリッドの選択行を指定のグリッド行番号に移動します
注意点	フォーカスの移動はありません
使用例	’ 選択行を移動 DbGridEx1.CurrentGrid.RowMove(5)      ’ 6 行目を選択状態にします

No 172

機能	グリッドの現在行の状態を取得／設定
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	Status
種別	メソッド
引数	Optional LineEditMode (状態フラグ) <ul style="list-style-type: none"><li>• NoEdit 変更なし</li><li>• Edited 編集済み</li><li>• Deleted 削除</li><li>• NewLine 新規行</li><li>• NewEdit 新規行の編集済み</li><li>• DeleteNewLine 新規行の削除</li></ul>
戻り値	LineEditMode (状態フラグ) →登録動作の場合でも登録前の値を返す
動作内容	グリッドの現在行が対象です 引数にレコード状態を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード状態を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	’ 削除に設定 DbGridEx1.CurrentGrid.Status(DbGridEx.LineEditMode.Deleted)

No 173

機能	現在のグリッド行とカラム名で指定したセルの値を取得／設定
クラス	DbGridEX.CurrentGrid
名称	Value
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Object (レコードに登録する値)
戻り値	Object (レコードに登録されていた値) →登録動作の場合でも登録前の値を返します
動作内容	カーソルのあるグリッド行に相当するレコードが対象です 引数にレコード登録値を設定しない場合は、値を取得します 引数にレコード登録値を設定した場合は、その値をレコードに登録します
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行に相当するレコードの値を取得 Debug.Print(DbGridEx1.CurrentGrid.Value("ABC"))  ' グリッドの現在行に相当するレコードに値を登録 DbGridEx1.CurrentGrid.Value("ABC",1000)</pre>

No 174

機能	隣接行の値入れ替え
クラス	DbGridEX.Grid
名称	ValueChange
種別	メソッド
引数	String (入替えカラム名) LineChange (入替え方向) Optional String (入替え後のカーソル移動カラム名) 入替え方向 DownLine グリッドの現在行と下の行について入替えします UpLine グリッドの現在行と上の行について入替えします
戻り値	
動作内容	グリッドの現在行と、上または下の行の指定カラムの値を入替えします
注意点	
使用例	<pre>' グリッドの現在行と下の行の値を入替えします DbGridEx1.Grid.ValueChange("ABC", LineChange.DownLine , "DEF")</pre>

機能	カラムの一括設定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	Add
種別	メソッド
引数	String (カラム名) String (ヘッダー文字) ColumnType (セルの形態) Integer (セルの幅方向ピクセル値) Integer (文字数) Optional CellEdit (編集形態) セルの形態 ButtonType (ボタン) CheckBoxType (チェックボックス) DateType (日付) DateTimeType (日付時刻) DecimalType (実数) LongType (整数) StringType (文字) TelNoType (電話番号に特化した文字) PostNoType (郵便番号に特化した文字) 編集形態 EditMode (編集可能) NoDispMode (非表示) ReadonlyMode (編集不可) SystemField (内部制御用のため使用しないでください)
戻り値	
動作内容	カラムの設定を行います
注意点	カラムの設定を行う場合に、最初に実行してください
使用例	DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "ボタン", _ DbGridEx.ColumnType.ButtonType, 100, 1, DbGridEx.CellEdit.EditMode)  ※ADDメソッドでカラムを設定する順番にグリッドの左側から配置されます

No 176

機能	カラム単位の背景色指定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	BackColor
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Color (背景色)
戻り値	
動作内容	カラム単位の背景色を指定します 設定したカラムは全ての行で着色されます
注意点	Addメソッドの後に実行します
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "文字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.StringType, 100, 20)  DbGridEx1.Grid.Column.BackColor("aaa", Color.Yellow) DbGridEx1.Grid.Column.ForeColor("aaa", Color.Red)</pre>



No 177

機能	セルの幅設定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	CellWidth
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (セル幅)
戻り値	
動作内容	セルの幅を設定します セルの幅は表示部のみ指定します (ヘッダー部は連動しません)
注意点	Addメソッドの後に実行します
使用例	DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "文字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.StringType, 100, 20)  DbGridEx1.Grid.Column.CellWidth("aaa", 150)

機能	カラムの表示位置設定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	CellPosition
種別	メソッド
引数	String (カラム名) DispPosition (表示位置) 表示位置 TopLeft (上、左側) TopCenter (上、中央) TopRight (上、右側) MidLeft (中央、左側) MidCenter (中央、中央) MidRight (中央、右側) BottomLeft (下、左側) BottomCenter (下、中央) BottomRight (下、右側)
戻り値	
動作内容	セル内に表示される文字／コントロールの位置を指定します ・文字、数値の表示は、表示される文字の位置 ・チェックボックスは、コントロールの位置 ・ドロップダウンリストは文字の位置 カラムヘッダーの文字位置設定も同時に指定します ※ボタンの場合は、常に中央に文字が表示されます
注意点	セル内の表示位置とカラムヘッダーの文字位置を異なる位置に設定する場合は、カラムヘッダーの文字位置指定をCellPositionメソッド以降に行ってください CellPositionより前にカラムヘッダーの文字位置設定を行うとCellPositionを実行した時点で設定が上書きされます
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "文字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.StringType, 100, 20)  DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("aaa", DbGridEx.DispPosition.MidLeft)  DbGridEx1.Grid.Column.Add("bbb", "数字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.LongType, 100, 20)  DbGridEx1.Grid.Column.CellPosition("bbb", DbGridEx.DispPosition.MidRight)</pre>

No 179

機能	セル変更時の変更フラグ更新モード
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	ChangeMode
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Boolean (変更フラグのロック) True 変更を反映しない False 変更反映する (デフォルト)
戻り値	
動作内容	セルの入力 (変更) が発生した時点で、内部の「変更ありフラグ」を更新するかを指定します Trueを指定すると、変更ありフラグは更新されません Falseを指定すると、変更ありフラグが更新されます
注意点	
使用例	DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "数値", _ DbGridEx.ColumnType.LongType, 100, 4)  ' 変更フラグを更新しません DbGridEx1.Grid.Column.ChangeLock("aaa", True)

No 180

機能	カラムの文字数設定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	CharLength
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (文字数)
戻り値	
動作内容	カラムの文字数を設定します 文字数はShift-JIS換算の文字数です 英数半角は1文字、全角文字は2文字として換算します
注意点	Addメソッドの文字数と同一です
使用例	DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "文字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.StringType, 100, 20)  DbGridEx1.Grid.Column.CharLength("aaa", 20)

No 181

機能	チェックボックスのＯｎ／Ｏｆｆ設定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	CheckOn
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (オン用数値) Integer (オフ用数値)
戻り値	
動作内容	チェックボックスのＯｎ用の数値、Ｏｆｆ用の数値を設定します チェックボックス用カラムは整数を保存します Ｏｎと判別する値、Ｏｆｆと判別する値を登録します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "チェックボックス", _ DbGridEx.ColumnType.CheckBoxType, 100, 4)  ' Ｏｎ・Ｏｆｆを設定します DbGridEx1.Grid.Column.CheckOn("aaa", 1, 0)  ※ 1 の場合にＯｎ 0 の場合にＯｆｆ</pre>

機能	カラム情報の初期化
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	Clear
種別	メソッド
引数	
戻り値	
動作内容	DbGridEX.Grid.Column.Addで追加したカラム情報を破棄します Clearの後に DbGridEX.Grid.Column.Add を実行することで異なる形状のグリッドを作成できます
注意点	Init メソッドで初期化した後に使用します
使用例	<pre> DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "数字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.DecimalType, 100, 10)  ' 小数点以下 2 桁を設定します DbGridEx1.Grid.Column.Digit("aaa", 2) ' カンマの表示をします DbGridEx1.Grid.Column.Comma("aaa", True)  DbGridEx1.CreateGrid()          .         .         .         .         .  ' カラム情報の初期化 DbGridEX.Grid.Column.Clear()  DbGridEx1.Grid.Column.Add("bbb", "数字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.DecimalType, 200, 15)  ' 小数点以下 2 桁を設定します DbGridEx1.Grid.Column.Digit("bbb", 1) ' カンマの表示しません DbGridEx1.Grid.Column.Comma("bbb", False) DbGridEx1.CreateGrid() </pre>

No 183

機能	カラムのカンマ表示指定（数値モードのみ）
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	Comma
種別	メソッド
引数	String（カラム名） Boolean（カンマの表示指定）
戻り値	
動作内容	数値用のカラムの場合にカンマの表示を指定します True カンマを表示します False カンマを表示しません
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "数字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.DecimalType, 100, 10)  ' 小数点以下2桁を設定します DbGridEx1.Grid.Column.Digit("aaa", 2) ' カンマの表示をします DbGridEx1.Grid.Column.Comma("aaa", True)</pre>

No 184

機能	カラムの小数点以下の桁数（数値モードのみ）
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	Digit
種別	メソッド
引数	String（カラム名） Integer（小数点以下の桁数）
戻り値	
動作内容	数値用のカラムの場合に小数点以下の桁数を指定します Decimal型のカラムのみ有効です
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "数字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.DecmalType, 100, 10)</pre> <p>’ 小数点以下 2 桁を設定します</p> <pre>DbGridEx1.Grid.Column.Digit("aaa", 2)</pre>



No 185

機能	カラムの編集モード設定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	EditMode
種別	メソッド
引数	String (カラム名) CellEdit (編集形態) 編集形態 EditMode (編集可能) NoDispMode (非表示) ReadonlyMode (編集不可) SystemField (内部制御用のため使用しないでください)
戻り値	
動作内容	カラムの編集モードを行います
注意点	Addメソッドの編集形態と同一です
使用例	DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "ボタン", _ DbGridEx.ColumnType.ButtonType, 100, 1)  DbGridEx1.Grid.Column.EditMode("aaa", DbGridEx.CellEdit.EditMode)

No 186

機能	セル変更時のイベント発生内容を設定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	EventMode
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Boolean (イベント出力のロック) True イベントを出力しない False イベントを出力する (デフォルト)
戻り値	
動作内容	セルの入力 (変更) や位置移動が発生した時点で発生するイベント出力を制限することができます Trueを設定することでイベント出力を停止します 対象となるイベント AddressChange ButtonClick CellEndEdit CellValueChange DoubleClick LastCell
注意点	
使用例	DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "数値", _ DbGridEx.ColumnType.LongType, 100, 4)  ' イベントを出力しません DbGridEx1.Grid.Column.EventMode("aaa", True)

No 187

機能	カラム単位の文字色指定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	ForeColor
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Optional Color (文字色)
戻り値	
動作内容	カラム単位の文字色を指定します 設定したカラムは全ての行で着色されます
注意点	Addメソッドの後に実行します
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "文字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.StringType, 100, 20)  DbGridEx1.Grid.Column.BackColor("aaa", Color.Yellow) DbGridEx1.Grid.Column.ForeColor("aaa", Color.Red)</pre>

機能	表示形式の指定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	Format
種別	メソッド
引数	String (カラム名) String (表示の書式)
戻り値	
動作内容	<p>文字・数字入力用カラムの書式を設定します</p> <p>書式用の文字</p> <p>g = 和暦の年号</p> <p>e = 2 桁の和暦の年数</p> <p>E = 2 桁の和暦の年数 (9 以下の場合は 1 0 の位はスペース)</p> <p>y = 4 桁の西暦</p> <p>m = 2 桁の月</p> <p>M = 2 桁の月 (9 以下の場合は 1 0 の位はスペース)</p> <p>d = 2 桁の日</p> <p>D = 2 桁の日 (9 以下の場合は 1 0 の位はスペース)</p> <p>h = 2 桁の時</p> <p>H = 2 桁の時 (9 以下の場合は 1 0 の位はスペース)</p> <p>n = 2 桁の分</p> <p>N = 2 桁の分 (9 以下の場合は 1 0 の位はスペース)</p> <p>s = 2 桁の秒</p> <p>S = 2 桁の秒 (9 以下の場合は 1 0 の位はスペース)</p> <p>f = 1 桁の数値</p>
注意点	<p>書式用の文字以外は固定文字として表示されます</p> <p>固定文字は入力作業で編集できません</p> <p>書式用の文字の部分のみ編集できます</p> <p>年号の部分は特定の文字で入力します</p> <p>明治 = "m" or "M" or "1"</p> <p>大正 = "t" or "T" or "2"</p> <p>昭和 = "s" or "S" or "3"</p> <p>平成 = "h" or "H" or "4"</p>
使用例	<p>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "日付", _ DbGridEx.ColumnType.DateType, 100, 20)</p> <p>’ 日付 1</p> <p>DbGridEx1.Grid.Column.Format("aaa", "y/m/d")</p> <p>セルの表示内容 2016/03/31</p> <p>※カラムの形式を日付型に指定した場合でFormat指定がなければ自動的にこの書式が内部指定されます</p> <p>’ 日付 2</p> <p>DbGridEx1.Grid.Column.Format("aaa", "y/M/D")</p> <p>セルの表示内容 2016/ 3/31</p> <p>’ 日付 3</p> <p>DbGridEx1.Grid.Column.Format("aaa", "y 年 M 月 D 日")</p> <p>セルの表示内容 2016 年 3 月 31 日</p> <p>’ 日付 4</p> <p>DbGridEx1.Grid.Column.Format("aaa", "g e 年 M 月 D 日")</p> <p>セルの表示内容 平成 28 年 3 月 31 日</p> <p>’ 郵便番号</p> <p>DbGridEx1.Grid.Column.Format("aaa", "fff-ffff")</p> <p>セルの表示内容 123-4567</p> <p>※カラムのタイプ指定で自動的に"fff-ffff"が内部で設定されます</p>

No 189

機能	カラムの先頭の0表示指定（数値モードのみ）
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	FullZeroDisp
種別	メソッド
引数	String（カラム名） Boolean（先頭ZEROの表示指定）
戻り値	
動作内容	数値用のカラムの場合に先頭に0の表示をするかを指定します True 0を表示します False 0を表示しません 銀行のコード番号のように、指定桁数が0で埋まるように表示します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "数字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.LongType, 100, 4)  '先頭の0を表示します DbGridEx1.Grid.Column.FullZeroDisp("aaa", True)  →「0001」のように表示します</pre>

No 190

機能	文字・数値入力カラムにフォーカスが当たった時に全選択をするかを指定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	Highlight
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Boolean (全選択の状態) True 全選択にします False 全選択にしません
戻り値	
動作内容	セルの移動やマウスのクリックなどでセルにフォーカスが当たった時の 選択状態を指定します
注意点	
使用例	' 全選択にします DbGridEx1.Grid.Column.Highliht("aaa", True)  ' 全選択にしません DbGridEx1.Grid.Column.Highliht("aaa", False)

機能	カラムのIME設定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	IME
種別	メソッド
引数	String (カラム名) IMEtype (IMEの指定) IMEの指定 Alpha (英数半角) AlphaFull (英数全角) DateMode (半角、日付用) Hiragana (ひらがな全角 仮名漢字変換) IMEoff(IME停止) IMEon(IME動作) Katakana (カタカナ全角) KatakanaHalf (カタカナ半角) Numeric (半角、数字用)
戻り値	
動作内容	セルに入力する文字の、文字入力状態を指定します チェックボックス、ドロップダウンリスト、ボタンはIMEoffを推奨します DateModeは、半角数字と"/"のみが有効になります Numericは、半角数字と","、"."、"- "が有効になります
注意点	
使用例	DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "文字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.StringType, 100, 20)  DbGridEx1.Grid.Column.IME("aaa", DbGridEx.IMEtype.Hiragana)

No 192

機能	カラムの段設定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	Line
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (開始段番号) Integer (終了段番号)
戻り値	
動作内容	複数段表示の段位置を指定します 2 段以上の高さを指定できます 段番号の最小番号は 0 です
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "文字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.StringType, 100, 20)  ' 0 から 1 段の、2 段分の高さのセルを設定します DbGridEx1.Grid.Column.Line("aaa", 0, 1)</pre>



No 193

機能	未入力時の数字を表現する文字
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	NullChar
種別	メソッド
引数	String (カラム名) String (未入力部分を表現する文字)
戻り値	
動作内容	無効な日付などの場合に未確定部分を表示する文字を指定します
注意点	指定する文字は1文字のみ指定します
使用例	<p>' 未入力文字を" "にします</p> <pre>DbGridEx1.Grid.Column.NullChar("aaa", " ") DbGridEx1.Grid.Column.Format("aaa", "y/m/d")</pre> <p>セルの表示内容    "    /    /    "</p> <p>' 未入力文字を"_"にします</p> <pre>DbGridEx1.Grid.Column.NullChar("aaa", "_") DbGridEx1.Grid.Column.Format("aaa", "g e 年 M 月 D 日")</pre> <p>セルの表示内容    " _ _ 年 _ 月 _ 日"</p>

機能	表示処理時に数値を全角にするかを指定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	NumWide
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Boolean (全角表示の指定) True 全角表示 False 半角表示
戻り値	
動作内容	セルに表示する数字を全角表示するかを指定します
注意点	Formatメソッドで書式指定を行った場合のみ有効です
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "日付", _ DbGridEx.ColumnType.DateType, 100, 20)  ' 半角指定 DbGridEx1.Grid.Column.NumWide("aaa", False) DbGridEx1.Grid.Column.Format("aaa", "y/m/d") セルの表示内容 2016/03/31  ' 全角指定 DbGridEx1.Grid.Column.NumWide("aaa", True) DbGridEx1.Grid.Column.Format("aaa", "y/m/d") セルの表示内容 2 0 1 6 / 0 3 / 3 1</pre>

No 195

機能	カラムのタブストップ設定
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	TabStop
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Boolean (タブストップの指示)
戻り値	
動作内容	カラムのタブストップを指定します True タブストップを有効にする False タブストップを無効にする
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "セル", _ DbGridEx.ColumnType.LongType, 100, 4)  ' タブストップを有効にします DbGridEx1.Grid.Column.TabStop("aaa", True)</pre>

No 196

機能	セル内の複数段表示
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	TextMultiLine
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Boolean (複数行指定) Boolean (スクロールバー表示)
戻り値	
動作内容	文字カラムの場合に、セル内の複数行表示を指定します (複数行指定) True 複数行の表示をします False 1行のみ表示します (デフォルト) (スクロールバー表示) True 上下スクロールバーを表示します False スクロールバーは表示しません ※スクロールバーは編集集中に表示されます
注意点	
使用例	DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "文字", _ DbGridEx.ColumnType.StringType, 100, 100)  ' 複数行表示を指定 DbGridEx1.Grid.Column.MultiLine("aaa", True, True)

No 197

機能	数値カラム用 入力範囲最大値
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	ValueMax
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Object (最小値)
戻り値	
動作内容	数値用カラムに入力できる範囲を設定します ValueMinが最小値、ValueMaxが最大値です
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "数値", _ DbGridEx.ColumnType.LongType, 100, 4)  ' 入力できる数値の範囲を指定 DbGridEx1.Grid.Column.ValueMin("aaa", 1) DbGridEx1.Grid.Column.ValueMax("aaa", 10)</pre>

No 198

機能	数値カラム用 入力範囲最小値
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	ValueMin
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Object (最小値)
戻り値	
動作内容	数値用カラムに入力できる範囲を設定します ValueMinが最小値、ValueMaxが最大値です
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "数値", _ DbGridEx.ColumnType.LongType, 100, 4)  ' 入力できる数値の範囲を指定 DbGridEx1.Grid.Column.ValueMin("aaa", 1) DbGridEx1.Grid.Column.ValueMax("aaa", 10)</pre>

No 199

機能	値が 0 かNullの場合はスペースにする
クラス	DbGridEX.Grid.Column
名称	ZeroToSpace
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Boolean (空白化の指示)
戻り値	
動作内容	数値用のカラムの場合に 0 かNullの場合に空白にするかを指定します True 空白にします False 0を表示します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "数字用セル", _ DbGridEx.ColumnType.LongType, 100, 4)  ' 空白を表示します DbGridEx1.Grid.Column.ZeroToSpace("aaa", True)</pre>

機能	Combo用ボタンをクリックした際の動作指定
クラス	DbGridEX.Grid.Column.Combo
名称	ButtonToGrid
種別	メソッド
引数	String (カラム名) ComboButtonMode (ボタンクリック時の動作) ボタンクリック時の動作 GridDisp Comboを表示し選択可能な状態 (デフォルト) EventOnly Comboは表示されません
戻り値	
動作内容	Combo用ボタンをクリックした際の動作を指定します ※現バージョンではイベント出力しません 将来の拡張用です
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "コンボ", _ DbGridEx.ColumnType.DropDownListType, 100, 100)  ' DropDownListの初期化 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("aaa") ' 空白行を追加 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.NullLine("aaa", True) ' DropDownListを表示します DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ButtonToGrid("aaa", _ DbGridEx.ComboButtonMode.GridDisp)  ' DropDownListアイテムの登録 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 1, "選択肢1") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 2, "選択肢2") </pre>



機能	Comboのマルチカラム化設定
クラス	DbGridEX.Grid.Column.Combo
名称	Group
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (グループ番号)
戻り値	
動作内容	Comboをマルチカラムにするためのグループを指定します 0を設定すると単独のComboになります グループ番号は1以上を設定します 複数のマルチカラムを設定する場合、別々のグループ番号を設定します
注意点	マルチカラムを設定する場合、それぞれのComboのアイテムのコード番号は統一する必要があります
使用例	<pre> DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "コンボ1", _ DbGridEx.ColumnType.DropDownListType, 100, 100)  DbGridEx1.Grid.Column.Add("bbb", "コンボ2", _ DbGridEx.ColumnType.DropDownListType, 100, 100)  ' グループ化 DbGridEx1.Grid.Column.Group("aaa", 1) DbGridEx1.Grid.Column.Group("bbb", 1)  ' DropDownListの初期化 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("aaa") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("bbb")  ' DropDownListアイテムの登録 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 1, "選択肢1") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 2, "選択肢2")  DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("bbb", 1, "選択肢A") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("bbb", 2, "選択肢B") </pre>

No 202

機能	DropDownListアイテムの登録
クラス	DbGridEX.Grid.Column.Combo
名称	ItemAdd
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Long (アイテムのコード) String (アイテムの文字列) Optional Long (フィルター用コード) デフォルト= 0
戻り値	
動作内容	Comboにアイテムを登録します フィルター用コードを指定することで、レコードのフィルター用コードと連動してリストに表示されるアイテムを制限できます
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "コンボ", _ DbGridEx.ColumnType.DropDownListType, 100, 100)  ' DropDownListの初期化 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("aaa") ' DropDownListアイテムの登録 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 1, "選択肢1") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 2, "選択肢2") </pre>

No 203

機能	DropDownListアイテムのクリア
クラス	DbGridEX.Grid.Column.Combo
名称	ItemClear
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	
動作内容	Comboに登録されたアイテムを消去します ItemAddの前に初期化します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "コンボ", _ DbGridEx.ColumnType.DropDownListType, 100, 100)  ' DropDownListの初期化 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("aaa") ' DropDownListのアイテムの登録 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 1, "選択肢1") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 2, "選択肢2")</pre>

機能	DropDownListアイテムの登録
クラス	DbGridEX.Grid.Column.Combo
名称	ItemsAdd
種別	メソッド
引数	String (カラム名) String (アイテムの文字列) Long (アイテムのコード) Optional Long (フィルター用コード) デフォルト=0 Optional Integer (オプション用の値) デフォルト=0
戻り値	
動作内容	Comboにアイテムを登録します フィルター用コードを指定することで、レコードのフィルター用コードと連動してリストに表示されるアイテムを制限できます
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "コンボ", _ DbGridEx.ColumnType.DropDownListType, 100, 100)  ' DropDownListの初期化 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("aaa") ' DropDownListアイテムの登録 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsAdd("aaa", "選択肢1", 1, 10, 10) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsAdd("aaa", "選択肢2", 2, 20, 50)</pre>

No 205

機能	DropDownListアイテムのクリア
クラス	DbGridEX.Grid.Column.Combo
名称	ItemsClear
種別	メソッド
引数	String (カラム名)
戻り値	
動作内容	Comboに登録されたアイテムを消去します ItemAddの前に初期化します
注意点	
使用例	<pre>DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "コンボ", _ DbGridEx.ColumnType.DropDownListType, 100, 100)  ' DropDownListの初期化 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsClear("aaa") ' DropDownListのアイテムの登録 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsAdd("aaa", "選択肢1", 1, 10, 10) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsAdd("aaa", "選択肢2", 2, 20, 50)</pre>

機能	Comboアイテムの空欄行の指定
クラス	DbGridEX.Grid.Column.Combo
名称	NullLine
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Boolean (空白行の有無指定) 空白行の有無指定 True 空白行を追加します False 空白行は追加されません (デフォルト)
戻り値	
動作内容	Comboに空白行を追加するかを指定します 追加した空白行のアイテムのコードは「0」です
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "コンボ", _ DbGridEx.ColumnType.DropDownListType, 100, 100)  ' DropDownListの初期化 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("aaa") ' 空白行を追加 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.NullLine("aaa", True) ' DropDownListアイテムの登録 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 1, "選択肢1") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 2, "選択肢2") </pre>

機能	Comboアイテムが未指定の場合の値を指定
クラス	DbGridEX.Grid.Column.Combo
名称	NullValue
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (未指定時の値)
戻り値	
動作内容	Comboが未指定の状態や空白行を選択した場合に取得する値を指定します Comboのアイテムのコードが0から始まるような場合に0以外の値を設定することで、空白行として明確に判別できるようになります
注意点	このメソッドで値を設定しない場合は、空白行などの値は0がデフォルト値となります
使用例	<pre> DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "コンボ", _ DbGridEx.ColumnType.DropDownListType, 100, 100)  ' DropDownListの初期化 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("aaa") ' 空白行を追加 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.NullLine("aaa", True) DbGridEx1.Grid.Column.Combo.NullValue("aaa", -1) ' DropDownListアイテムの登録 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 1, "選択肢1") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemAdd("aaa", 2, "選択肢2") </pre>

機能	Comboでアイテムの検索を行うかを指定
クラス	DbGridEX.Grid.Column.Combo
名称	WordSearch
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Boolean (検索の有効化)
戻り値	
動作内容	Comboでアイテムの検索を行うかを指定します 検索動作が有効な場合True 検索動作が無効な場合False
注意点	
使用例	<pre> DbGridEx1.Grid.Column.Add("aaa", "コンボ1", _ DbGridEx.ColumnType.DropDownListType, 100, 100)  DbGridEx1.Grid.Column.Add("bbb", "コンボ2", _ DbGridEx.ColumnType.DropDownListType, 100, 100)  ' グループ化 DbGridEx1.Grid.Column.Group("aaa", 1) DbGridEx1.Grid.Column.Group("bbb", 1)  ' DropDownListの初期化 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("aaa") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemClear("bbb")  ' DropDownListアイテムの登録 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsAdd("aaa", 1, "選択肢1") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsAdd("aaa", 2, "選択肢2")  DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsAdd("bbb", 1, "選択肢A") DbGridEx1.Grid.Column.Combo.ItemsAdd("bbb", 2, "選択肢B")  ' 検索の有効化 DbGridEx1.Grid.Column.Combo.WordSearch("bbb", True) </pre>



No 209

機能	カラムヘッダーの表示
クラス	DbGridEX.Grid.Header
名称	AllColumnVisible
種別	プロパティ
引数	Boolean (True 表示 False 非表示)
戻り値	Boolean (True 表示 False 非表示)
動作内容	カラムヘッダーの表示を指定します
注意点	
使用例	値の設定 DbGridEx1.Grid.Header.AllColumnVisible = True

No 210

機能	ヘッダーの背景色
クラス	DbGridEX.Grid.Header
名称	BackColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	ヘッダーの背景色を指定します
注意点	
使用例	値の設定 DbGridEx1.Grid.Header.BackColor = Color.DimGray

No 211

機能	ヘッダーのフォント
クラス	DbGridEX.Grid.Header
名称	Font
種別	プロパティ
引数	System.Drawing.Font
戻り値	System.Drawing.Font
動作内容	ヘッダーの文字フォントを指定します
注意点	
使用例	値の設定 DbGridEx1.Grid.Header.Font = New Font("MS ゴシック", 10)

No 212

機能	ヘッダーの文字色
クラス	DbGridEX.Grid.Header
名称	FontColor
種別	プロパティ
引数	Color
戻り値	Color
動作内容	ヘッダーの文字色を指定します
注意点	
使用例	値の設定 DbGridEx1.Grid.Header.FontColor = Color.Black

No 213

機能	行ヘッダーの表示
クラス	DbGridEX.Grid.Header
名称	RowVisible
種別	プロパティ
引数	Boolean (True 表示 False 非表示)
戻り値	Boolean (True 表示 False 非表示)
動作内容	行ヘッダーの表示を指定します
注意点	
使用例	値の設定 DbGridEx1.Grid.Header.RowVisible = True

No 214

機能	行ヘッダーの幅設定
クラス	DbGridEX.Grid.Header
名称	RowWidth
種別	プロパティ
引数	Integer (行ヘッダーの幅)
戻り値	Integer (行ヘッダーの幅)
動作内容	行ヘッダーの幅を設定します 5以下の幅は設定できません
注意点	
使用例	値の設定 DbGridEx1.Grid.Header.RowWidth = 20

No 215

機能	カラムヘッダーの高さ設定
クラス	DbGridEX. Grid. Header
名称	ColumnLineHeight
種別	メソッド
引数	Integer (段番号) Integer (高さ)
戻り値	
動作内容	カラムのヘッダーの高さを設定します 複数段設定の場合は段番号ごとに設定します
注意点	
使用例	' 値の設定 DbGridEx1. Grid. Header. ColumnHeight (0, 30)

No 216

機能	カラムヘッダーの文字
クラス	DbGridEX.Grid.Header
名称	ColumnText
種別	メソッド
引数	String (カラム名) String (ヘッダーに表示する文字列)
戻り値	
動作内容	カラムのヘッダーに表示する文字文字列を指定します
注意点	Addメソッドで設定した値を上書きします
使用例	値の設定 DbGridEx1.Grid.Header.ColumnText("aaa","ヘッダー文字")



No 217

機能	カラムヘッダーの文字位置
クラス	DbGridEX.Grid.Header
名称	ColumnTextPosition
種別	メソッド
引数	String (カラム名) DispPosition (表示位置) 表示位置 TopLeft (上、左側) TopCenter (上、中央) TopRight (上、右側) MidLeft (中央、左側) MidCenter (中央、中央) MidRight (中央、右側) BottomLeft (下、左側) BottomCenter (下、中央) BottomRight (下、右側)
戻り値	
動作内容	カラムのヘッダーに表示する文字位置を指定します
注意点	Addメソッドで設定した値を上書きします
使用例	値の設定 DbGridEx1.Grid.Header.ColumnTextPosition("aaa", _ DbGridEx.DispPosition.MidLeft)

No 218

機能	カラムヘッダーの表示指定
クラス	DbGridEX.Grid.Header
名称	ColumnVisble
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Boolean (表示指定)
戻り値	
動作内容	カラムのヘッダーの表示／非表示を設定します 値を表示することで値を表示するセルと異なる配置ができます
注意点	
使用例	' 値の設定 DbGridEx1.Grid.Header.ColumnVisible("aaa",False)

No 219

機能	カラムヘッダーの幅指定
クラス	DbGridEX.Grid.Header
名称	ColumnWidth
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (幅指定)
戻り値	
動作内容	カラムのヘッダーの幅を設定します
注意点	
使用例	<pre>' 幅の設定 DbGridEx1.Grid.Header.ColumnWidth("aaa", 200)</pre>

No 220

機能	カラムヘッダーの段番号の指定
クラス	DbGridEX.Grid.Header
名称	Line
種別	メソッド
引数	String (カラム名) Integer (開始段番号) Integer (終了段番号)
戻り値	
動作内容	カラムのヘッダーの高さ方向の位置を設定します 開始、終了の段番号を指定することで複数段に連結することができます
注意点	
使用例	値の設定 DbGridEx1.Grid.Header.Line("aaa", 0, 1)